

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成7年(1995)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|--------------|-----------|
| 01 単行本 | 20 産婦人科史 |
| 02 医学切手・書画 | 21 歯学史 |
| 03 医学教育 | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語 | 23 疾病史 |
| 05 医師会・学会 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般 | 25 種痘史 |
| 07 医の倫理 | 26 獣医学史 |
| 08 医療器械 | 27 書簡 |
| 09 医療制度史・医療史 | 28 書誌学 |
| 10 衛生・公衆衛生史 | 29 小児科史 |
| 11 解剖学史 | 30 神経学史 |
| 12 眼科史 | 31 診断学史 |
| 13 看護史 | 32 整形外科史 |
| 14 寄生虫学史 | 33 精神医学史 |
| 15 教室史 | 34 生物学史 |
| 16 軍陣医学史 | 35 西洋医学史 |
| 17 形成外科史 | 36 生化学史 |
| 18 外科史 | 37 生理学史 |
| 19 細菌学史 | 38 地方史 |

- | | |
|-------------|-----------------|
| 39 治療史 | 52 法医学史 |
| 40 伝記 | 53 放射線医学史 |
| 41 伝記(双) | 54 本草学史・博物学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 55 麻酔学史 |
| 43 東洋医学史 | 56 門人録 |
| 44 内科史 | 57 薬学史 |
| 45 皮膚科史 | 58 蘭学史 |
| 46 泌尿器科史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 47 病院学 | 60 検査 |
| 48 病跡史 | 61 その他 |
| 49 病理学史 | 62 中国語文献 |
| 50 風俗史 | 63 韓国語文献 |
| 51 仏教医学史 | 64 欧文文献 |

今回は07、14、17、27、34、36、48、49、50、51、56、59、63にあたる文献はありません。

01 単行本

朝日ホームドクター『医のふる里を訪ねる 続日本の医史跡 20選』バイエル薬品
医学史研究会『医学史研究1995 医学史研究会30周年記念号』石山昱夫『メンデ法医学小史(1819)』
岩田誠『ペールラシェーズの医学者』中山書店
大塚恭男『医学史こぼれ話』臨床情報センター
奥田暁子(編者)『女と男の時空 日本女性史再考V 聞き合う』

女と男—近代— 藤原書店
奇昌徳『増補 韓国歯科医学史』
「研究紀要」編集委員会『衣の民族館・日本風俗史学会中部
支部研究紀要』衣の民俗館
小関恒雄『明治法医学編年資料断章』玄同社
埼玉県『埼玉県史料叢書2 埼玉県史料二』
坂出祥伸(代表)『新出土資料による中国古代医学の研究—張
家山出土漢簡を中心に—』平成6年度科学研究費補助金一
般研究(B)研究成果報告書
神農五千年刊行委員会『神農五千年』斯文会
杉本つとむ『蘭学者肖像・遺墨・書簡集 洋学篇 第1巻』早
稲田大学図書館
全国保険医団体連合会『戦後開業医運動の歴史1945~1995』
労働旬報社
道修町文書保存会『道修町文書目録—近代編(下巻)—』道修
町文書保存会
中尾英雄『ルーツを訪ねて 江戸の癩瘡医 池田京水とその一
族』中尾英雄
中浜東一郎、中浜明(編)『中浜東一郎日記 第五巻』富山房
中原泉『ビドロー解剖アトラス』南山堂
西山茂夫監修/今泉孝、小野公義、小泉雄一郎、長門谷洋治、
藤岡彰著『皮膚科の病名由来ア・ラ・カルトII』協和企画
通信
日本解剖学会百周年記念事業実行委員会、記念出版委員会、

教室史編集委員会『日本解剖学会100周年記念 日本解剖学
会百年のあゆみ』日本解剖学会1995
日本解剖学会百周年記念事業実行委員会、記念出版委員会、
教室史編集委員会『日本解剖学会100周年記念 教室史』日
本解剖学会
日本薬史学会編『日本医薬品産業史』薬事日報社
根占献一、伊藤博明、伊藤和行、加藤守通『イタリアルネッ
サンスの靈魂論』三元社
原三信(編)六代原三信蘭方医三百年記念奨学会『日本で初め
て翻訳した解剖書』思文閣出版
福田真人『結核の文化史—近代日本における病のイメージ
—』名古屋大学出版会
三浦宏一郎『菌類認識史資料 巻』萩庵
三重大学医学部記念誌発行専門委員会『三重大学医学部五十
年史』三重大学医学部創立50周年記念事業委員会
南博『近代庶民生活誌 20 病氣・衛生』三一書房
安井広『ベルツの生涯 近代医学導入の父』思文閣出版
山下政三『脚気の歴史 ビタミンの発見』思文閣出版
吉益東洞顕彰碑建設会『吉益東洞顕彰記』
吉元昭治『今だから使える—不老長寿100の知恵 道教養生訓
「食」「飲」「性」の掟とは』KKベストセラーズ
和歌山県立医科大学50周年記念事業実行委員会『和歌山県立
医科大学 創立五十周年記念写真集』

02 医学切手・書画

- 「史料としてのオランダの「解剖学講義」の画(抄)」石田純郎『日本医史学雑誌』41(2)296-297
- 「目で見えるオランダの解剖学講義—オランダに現存する24校の解剖学講義の画より—」石田純郎『洋学資料による日本文化史の研究』(Ⅷ)113-183
- 「メディカル・フィラテリー 野口英世記念館」石原理年『医譚』(68)4017
- 「メディカル・フィラテリー 第15回国際糖尿病会議」石原理年『医譚』(68)4033
- 「メディカル・フィラテリー 流し雛」石原理年『医譚』(68)4034
- 「メディカル・フィラテリー 荻野吟子顕彰碑」石原理年『医譚』(69)4087
- 「メディカル・フィラテリー 日本解剖学会百回総会」石原理年『医譚』(69)4052
- 「メディカル・フィラテリー わが国唯一「アスクレピオス像」」石原理年『医譚』(69)4067
- 「絵で見る医学史 ヒポクラテスの外科」酒井シヅ『Pharma Sandoz』(4)17
- 「G・ビドロ—の楽譜(抄)」中原泉『日本医史学雑誌』41(2)298-299
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和14年」正木繁『メディカル朝日』24(1)89-91

- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和18年」正木繁『メディカル朝日』24(2)91-93
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和19年」正木繁『メディカル朝日』24(3)79-81
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和20年」正木繁『メディカル朝日』24(4)87-89
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和21年」正木繁『メディカル朝日』24(5)77-79
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和23年」正木繁『メディカル朝日』24(6)77-79
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和25年」正木繁『メディカル朝日』24(7)91-93
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和33年」正木繁『メディカル朝日』24(8)95-97
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和34年」正木繁『メディカル朝日』24(9)73-75
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和36年」正木繁『メディカル朝日』24(10)81-83
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和42年」正木繁『メディカル朝日』24(11)57-59
- 「消印は知っていた 手紙が綴る庶民医療史—昭和48年」正木繁『メディカル朝日』24(12)71-73

03 医学教育

- 「生涯教育における医史学」大村敏郎『医学教育』26(5)327-328
- 「済生学舎廃校後の各種講習会及び私立東京医学校・私立日本医学校(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』41(2)230-231
- 「済生学舎廃校後の各種講習会及び私立東京医学校・私立日本医学校」唐沢信安『日本医史学雑誌』41(1)41-74
- 「明治初期における医学教科書(抄)」衣笠昭『神奈川医学会雑誌』22(2)370
- 「順天堂大学医学部の五十年史」酒井シヅ『茶崖記念特別号』8-35
- 「第二次大戦後の医学教育変革について(抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』41(2)242-243
- 「医学教育における日本の心理学の再検討その歴史と現状と課題」宮本直美『医学教育』26(5)351-352

04 医学用語

- 「言葉の由来 60 男と女」岩月賢一『Johns』11(2)232-234

05 医師会・学会

- 「第7回国際手腕振動会議に参加して」二塚信『労働の科学』50(11)753-756
- 「第11回日本医学会会誌について(抄)」渋谷敏、渋谷幸男、大場重信、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)19-20

- 「第14回アジア労働衛生学会の印象」李卿『労働の科学』50(5)338-342

06 医史学一般

- 「医界雑録 25-26 長與専斎の「衛生意見書」」青柳精一『大阪保険医雑誌』23(1-2)65,53
- 「医界雑録 27-29 医業を捨て開拓に命を捧げた関寛斎」青柳精一『大阪保険医雑誌』23(4-6)49,61,51
- 「医界雑録 30-31 スラム街「名護町」に見る衛生事情」青柳精一『大阪保険医雑誌』23(7-8)33,37
- 「医界雑録 34-35 医術開業試験と幻の「医師規則」案」青柳精一『大阪保険医雑誌』23/24(12/1)44,41
- 「池田文書と侍医制度(抄)」遠藤正治『日本医史学雑誌』41(2)236-237
- 「[医学史ミニ博物館] 連載100回を迎えて」大村敏郎『医学のあゆみ』171(4)269-270
- 「医学史と旅②知られざる著名人プラヴァーズの注射器と生地の橋を訪ねて」大村敏郎『けんさ』24(3)31-41
- 「医学史と旅③ルイ・パストゥールの生地で見えたもの」大村敏郎『けんさ』25(1)27-37
- 「医学史と旅④ルイ14世と医療」大村敏郎『けんさ』25(2)38-49
- 「医療と歴史との接点を求めて 華岡青洲のこと」大村敏郎『医薬の門』35(1)2-5

「医療と歴史との接点を求めて フランス革命頃の外科医たち」大村敏郎『医薬の門』35(2)78-81
「医療と歴史との接点を求めて 救急車の父ドミニク・ジャン・ラレー」大村敏郎『医薬の門』35(3)210-213
「医療と歴史との接点を求めて エドワード・ジェンナーと日本の医学」大村敏郎『医薬の門』35(4)256-260
「『漫遊雑記』にみる師法進展」小曾戸明子『啓迪』(13)46-47
「現代医学と伝統医学」酒井シヅ『伝承と医学』(12)20-22
「現代医学の歴史的背景(承前)18世紀の医学」酒井シヅ『茶崖』(78)5-8
「現代医学の歴史的背景(承前)近代臨床医学の誕生」酒井シヅ『茶崖』(80)5-8
「忠臣蔵の医学」篠田達明『日本食品衛生学会70回学術講演会講演要旨集』17-19
「病院の年輪 城西医療財団の歴史」関健『日本病院会雑誌』42(10)1685-1692
「世界の医療文化史 近代療法の道程」宗田一『Pharma Medica』13(1, 2, 4)160-164, 137-141, 122-125
「医道そぞろ歩き—医学史の視点から(1)人を愛するところに医学もある」二宮陸雄『Medicina』32(4)824-825
「医道そぞろ歩き—医学史の視点からガイ病院のブライトと腎炎」二宮陸雄『Medicina』32(8)1652-1653
「医道そぞろ歩き—医学史の視点からガイ病院のアジソンと

副腎」二宮陸雄『Medicina』32(9)1876-1877

「日本の近代医学の夜明け(会議録)」藤田俊夫『オペナーシング』10(4)366-368

「有志共立という思想 慈恵医大創立の思想」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』110(2)297-312

08 医療器械

「CAPD 関連製品の開発の歴史とその将来」鈴木誠二、浅野克之『在宅医療』2(2)40-47

09 医療制度史・医療史

「オランダにおける近代医学システムの受容と日本への影響」石田純郎『医学史研究』(66)157-161

「古代日本に於ける呪術医療の思想的基盤(抄)」稲垣直『日本医史学雑誌』41(2)282-283

「歴史的背景をふまえて肺の Disability を考える(会議録)」梅田博道『日本胸部疾患学会雑誌』33(増刊)63

「衛生制度の開拓者たち 明治はじめ京都における政策をめぐって コレラ流行」小野尚香『保健婦雑誌』51(2)146-149

「診療報酬の政治経済学第一線医療の充実を掲げて保団連の改善運動の歴史と到達点」河野和夫『月刊保団連』(478)26-30

「変遷する医師の役割とインフォームド・コンセント 歴史

的観点からの考察」酒井明夫『医学哲学医学倫理』(13) 123-131

「板東俘虜収容所における健康保険組合(抄)」下総高次『日本歯科医学学会々誌』21(1)17-18

「患者の心性および「よい患者」の歴史的考察(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』41(2)280-281

「オキュペーションナル・セラピー(OT)の発展—米国と日本の比較—(抄)」鈴木明子『日本医史学雑誌』41(2)310-311

「ホスピスケアの歴史的起源とその根本思想ディアコニー運動とその本質」中里巧『医学哲学医学倫理』(13)44-51

「20世紀医療史①20世紀のはじまり ポーア戦争」野村拓『月刊保団連』(466)30-31

「20世紀医療史②医療交響曲・新世界」野村拓『月刊保団連』(468)34-35

「20世紀医療史③乳児死亡とミルク」野村拓『月刊保団連』(470)62-63

「20世紀医療史④在宅・訪問看護」野村拓『月刊保団連』(471)42-43

「20世紀医療史⑤列強・それぞれの医療」野村拓『月刊保団連』(475)36-37

「20世紀医療史⑥膨張・効率・消耗」野村拓『月刊保団連』(478)42-43

「20世紀医療史⑦第一次大戦前夜の生活と医療」野村拓『月刊保団連』(479)50-51

「20世紀医療史⑧総力戦と医療」野村拓『月刊保団連』(481)70-71

「20世紀医療史⑨戦争・女性・医療」野村拓『月刊保団連』(482)40-41

「20世紀医療史⑩往診はクルマで」野村拓『月刊保団連』(483)50-51

「20世紀医療史⑪1920年代の医療費—アメリカの場合」野村拓『月刊保団連』(489)38-39

「20世紀医療史⑫北国への視線」野村拓『月刊保団連』(492)54-55

「近代医療史 医薬品の開発」原健二『地域医学』9(2)68-71

「近代医療史 大正時代の日本と世界の医療史」原健二『地域医学』9(3)127-130

「近代医療史 癌遺伝子研究の系譜」原健二『地域医学』9(4)258-261

「近代医療史 医科生理学の幕開け」原健二『地域医学』9(6)399-402

「近代医療史 福沢諭吉の医療における役割」原健二『地域医学』9(8)521-524

「日本と欧米の医療文化史 西洋医学への目覚め 東京大学におけるドイツ医学教育の始まり」藤田俊夫『オペナージング』10(5)492-495

「日本と欧米の医療文化史 日本におけるドイツ医学の萌芽期 各地方への波及と日本人学者の活躍」藤田俊夫『オペ

ナーシング』10(6)602-605

「日本と欧米の医療文化史 虫垂炎と虫垂切除術の歴史」藤田俊夫『オペナーシング』10(8)796-799

10 衛生・公衆衛生史

「黎明期の労働衛生史(122)・(123)「生糸」に生きた人びとヨコハマ開港③・④ハリス(中)・(下)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(224,228)6

「黎明期の労働衛生史(124)「生糸」に生きた人びとヨコハマ開港⑤外人居留地」乾修然『労働衛生ジャーナル』(233)5

「黎明期の労働衛生史(125)「生糸」に生きた人びとヨコハマ開港⑥生糸急伸」乾修然『労働衛生ジャーナル』(235)6

「メンタルヘルス職場の精神保健の歴史と展望」鈴木良雄『通信医学』47(5)275-280

「公衆衛生の歴史と基本理念」高野陽『公衆衛生』59(1)4-6

「働く人の病気(82)成人のアトピー—喘息・鼻炎・皮膚炎など—」野村茂『労働の科学』50(1)42-43

「働く人の病気(83)高脂血症—動脈硬化の背景—」野村茂『労働の科学』50(2)126-127

「働く人の病気(84)働く人々とがん—肺がんがふえた—」野村茂『労働の科学』50(3)182-183

「働く人の病気(85)有機リン化合物—農薬中毒の問題—」野村茂『労働の科学』50(4)230-231

「働く人の病気(86)軽症高血圧—ライフスタイルの改善—」野村茂『労働の科学』50(5)318-319

「働く人の病気(87)職場不適応現象—その症候群のこと—」野村茂『労働の科学』50(6)406-407

「働く人の病気(88)胃・十二指腸潰瘍—消化器の心身症—」野村茂『労働の科学』50(7)474-475

「働く人の病気(89)業務上傷病をめぐる—労働者の疾病—」野村茂『労働の科学』50(8)524-525

「働く人の病気(90)職業と悪性黒色腫—黒い皮膚がん—」野村茂『労働の科学』50(9)582-583

「働く人の病気(91)ポルフィリン症—鉛中毒など—」野村茂『労働の科学』50(12)788-789

「第2回国際労働衛生工学会に参加して」松村芳美『労働の科学』50(4)232-235

「続サテライト通信(60)米国女性の職場での死因の第1位は殺人」三浦豊彦『労働の科学』50(1)54-55

「続サテライト通信(61)サンマータイムはサマータイム」三浦豊彦『労働の科学』50(2)92-93

「続サテライト通信(62)凍傷治療に尿」三浦豊彦『労働の科学』50(3)190-191

「続サテライト通信(63)小説 [ロンドン市の運命の日]—The Doom of London, 1892」三浦豊彦『労働の科学』50(4)252-253

「続サテライト通信(64)阪神大震災は関東大震災を思い出さ

せた」三浦豊彦『労働の科学』50(5)294-295
「続サテライト通信(65)桐原葆見画伯」三浦豊彦『労働の科学』50(6)388-391
「続サテライト通信(66)大空襲下の炊き出し」三浦豊彦『労働の科学』50(7)466-467
「続サテライト通信(67)宗教弾圧350年に耐えた日蓮宗不受不施派」三浦豊彦『労働の科学』50(8)524-525
「続サテライト通信(68)松本サリン事件の被災状況」三浦豊彦『労働の科学』50(9)574-575
「続サテライト通信(69)オフィス環境と地震を考えたリスク・マネジメント」三浦豊彦『労働の科学』50(10)671-676
「続サテライト通信(70)電磁波と「がん」」三浦豊彦『労働の科学』50(11)724-725
「続サテライト通信(71)ウォーナー伝説が消えた」三浦豊彦『労働の科学』50(12)832-833
「労働観私論(VIII)—食べるために働き、働くために食べた時代—」三浦豊彦『労働科学』71(2)63-80
「労働観私論(IX)—聞き書き労働観(1)繊維産業労働者・鉱山労働者—」三浦豊彦『労働科学』71(6)217-232
「労働観私論(X)—聞き書き労働観(2)大工・石屋・林業労働者—」三浦豊彦『労働科学』71(9)357-369
「北海道根室釧路地域における一般住民へのエキノコックス症教育エキノコックス症対策の歴史の長短による地域間比

較」山本長史、岸玲子、三宅浩次『日本公衆衛生雑誌』42(8)559-568
「世界最古の中国、宋の時代のじん肺の記録とスペイン征服下の南米ポトシ銀山のじん肺」吉野貞尚『労働の科学』50(1)44-48
「ソルジェニーツイン著「収容所群島」とソ連抑留日本人兵士のじん肺の記録」吉野貞尚『労働の科学』50(7)453-456
「帝政ロシアのじん肺とその他の国の状況」吉野貞尚『労働の科学』50(10)692-695
「マルクスおよびエンゲルスの人じん肺の記録」吉野貞尚『労働の科学』50(4)258-261

11 解剖学史

「アポプトーシスその研究の歴史と傾向(英文)」内山安男『Archives of Histology and Cytology』58(2)127-137
「解体新書とバレ解剖図(抄)」上瀉口武、金子義郎、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』21(1)16-17
「名古屋博物館所蔵の木骨について(抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』41(2)272-273
「三浦梅園における獣胎解剖の視座(抄)」近藤均『日本医史学雑誌』41(2)206-207
「[解体新書]」酒井シヅ『クリニシアン』42(437)2-6
「日本最初の西洋解剖書の翻訳レミン解剖書の訳本と十七世紀の蘭方外科」酒井シヅ『日本で初めて翻訳した解剖

書] 83-98

- 「日本における軟骨研究の歴史的回顧(英文)」Suzuki Fujio
『Journal of Bone and Mineral Metabolism』13(1)32-33
- 「明治期における発生学の教科書」谷村孝『解剖学雑誌』70
(3)278
- 「精子の話 その一 その正体がわかるまで」永野俊雄『ミク
ロスピア』12(1)12-21
- 「脳を固める・切る・染める—先人の知恵—第7回～第9回」
萬年甫『Brain Medical』7(1-3)79-84, 205-210, 317-321
- 「南化本『史記』幻雲附標に引かれる『存真環中図』につい
て(抄)」宮川浩也、真柳誠、小曾戸洋『日本医史学雑誌』
41(2)252-253

12 眼科史

- 「日本眼科学会雑誌からみた日本の眼科100年「論文総覧
データベース」の作成(その1)(会議録)」大庭紀雄、外1
名『日本眼科学会雑誌』99(臨増)231
- 「明治期ドイツ留学もしくは視察した眼科医達(抄)」奥沢康
正、ユルゲン・コバチ『日本医史学雑誌』41(2)226-227
- 「土井利勝の眼鏡・其の他」川島恂二『古河郷土史研究会
報』(33)1-5
- 「心身眼科学とその歴史」松井瑞夫『眼科』37(8)843-849

13 看護史

- 「看護基礎教育プロセスにおける救急看護教育のあり方(1)
救急看護に関する歴史的考察」柘植尚子、他『日本看護学
教育学会誌』5(2)66-67
- 「『看病用心抄』に見られる終末期看護」上野陽里『医学史
研究』(68)252-257
- 「日本看護史における「新撰看護学-附精神病看護学」の役
割」遠矢福子、細谷純子『福井県立大学看護短期大学部論
集』(2)19-27
- 「ブラジルの看護事情 歴史的成り立ちと現状」Oguisso
Taka『看護学雑誌』59(11)1036-1039
- 「私が見聞した看護の歴史」大森文子『看護』47(2-3)
101-107, 96-103
- 「私が見聞した看護の歴史」大森文子『看護』47(5-6)
130-137, 131-137
- 「私が見聞した看護の歴史」大森文子『看護』47(8-13)
130-136, 115-121, 100-107, 112-119, 133-139, 97-103
- 「米国の専門看護婦制度その歴史と現状」田中勝子『看護』
47(14)140-156
- 「戦後50年—心の軌跡を辿る平和こそ、看護の前提」花田ミ
キ『看護学雑誌』59(8)769-775
- 「臨床技術の向上と認定看護婦(士)感染管理看護歴史的経過
から分かる専門看護婦の意義」堀井理司『ナーシング・ト
ウデイ』10(6)20-21

「スペシャリストの現状と日本の課題 米国における歴史的展開を踏まえて」森山美知子『看護』47(14)180-191
「保健婦の歴史」湯沢布矢子『公衆衛生情報』25(5)55-57

15 教室史

「金沢大学医学部産科婦人科教室 [明治大正期の在籍者について]」赤祖父一知『北陸医史』16(1)17-29

16 軍陣医学史

「戦傷病者の診療記録 陸海軍病院の診療録(総説)」大村一郎『診療録管理』7(1)1-12
「陸軍軍医講習生仮規則(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』41(2)294-295
「横浜軍陣病院」の歴史地理学的再検討」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』22(1)9-16
「軍医寮発足のさいにみられた東校と兵部省の確執(抄)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』41(2)292-293
「横須賀海軍工廠と海軍共済病院の歴史的考察」福岡洋『共済医報』44(3)278

18 外科史

「乳癌手術の歴史的変遷 Halsted Fisher へ」阿部力哉『外科』57(5)523-529
「日本における大動脈瘤外科の歴史(会議録)」井上正『日本

血管外科学会雑誌』4(2)178

「創傷処置「デブリドマン」の父P. J. デソー没後200年に当たって」大村敏郎『日本外科学会雑誌』96(8)547-549
「P・J・デソーとその処置デブリドマンについて(抄)」大村敏郎『日本医史学雑誌』41(2)304-305
「救急法図解(全15枚)について(抄)」加來洋子、村木春長、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)29-30
「Halsted と Volkmann, Billroth」酒井シヅ『Mamma』(20)表2
「Pancoast の乳癌の手術図」酒井シヅ『Mamma』(22)表2
「乳癌の再発」酒井シヅ『Mamma』(21)表2
「わが国の脳神経外科の黎明(2)」佐野圭司『Clinical Neuroscience』13(3)358-359
「血液型のすべて 血液型発見の歴史」遠山博『日常診療と血液』5(6)731-734
「向井元升と『紅毛流外科秘伝』について(抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』41(2)220-221
「藍屋佐兵衛の妻と勝股元碩の妻—青洲の乳癌患者について—(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』41(2)222-223
「不破家華岡流手術図について(抄)」山内一信、不破洋『日本医史学雑誌』41(2)224-225

19 細菌学史

「ペスト菌発見100年(総説)」大滝紀雄『感染症』25(1)1-4

「20世紀末のベスト禍」五島瑳智子『臨床と微生物』22(1)
76-77

「肝炎ウイルス検索の歴史」三代俊治『肝・胆・脾』30(1)
29-39

20 産婦人科史

「サロモン氏産科鉗子(抄)」石原力『日本医史学雑誌』41
(2)228-229

「助産婦の歴史(137~145)」石原力『ペリネイタルケア』14
(1-9) 66-67, 188-189, 254-255, 340-342, 472-473, 542-543,
666-667, 738-739, 880-882

「箕作阮甫『産科簡明』と原著者及び原著について(例会)」
石原力『日本医史学雑誌』41(3)433-435

「ルーチンの医療処置を見直すわが国における産科処置の歴史」
岡本喜代子『助産婦雑誌』49(4)271-276

「産婦人科医学史(2)神と人の[座位分娩]」酒井シヅ『THE
FEMALE PATIENT』8(2)巻末

「安全な腹腔鏡下手術を行うために腹腔鏡気腹法安全性追究
の歴史」杉本修『産婦人科の実際』44(6)721-727

「周産期医療における出血のかかえる問題 出血との闘い輸
血の歴史」中村幸夫『ペリネイタルケア』(夏季増刊)
11-16

「分娩誘発の歴史の変遷」渡辺香織,末原紀美代『ペリネイ
タルケア』14(8)769-776

21 歯学史

「歯科用薬品の歴史 マイナートランクライザー 臨床編」上
田裕『歯科ジャーナル』41(1)137-145

「クラウン・ブリッジの歴史的考察」内田康也、永松浩、細
川隆司『日本歯科医史学会々誌』20(4)231-235

「O-O式咬合器の歴史的考察」内田康也、永松浩、細川隆
司、小林繁、向野明甫『日本歯科医史学会々誌』20(4)
236-240

「瑞穂屋清水水卯三郎の業績(その1)人物像と歯科以外の業績
(抄)」太田実、森山徳長、田辺明、大山萬、石川達也『日
本歯科医史学会々誌』20(3)211

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第3報—1860~1869年間の
歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光栄、K. K. Shimizu
日本歯科医史学会々誌』20(3)165-170

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第4報—1870~1879年間の
歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光栄、K. K. Shimizu
日本歯科医史学会々誌』20(3)171-177

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第5報—1880~1889年間の
歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光栄、Kenji Ken-
neth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』20(4)251-257

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第6報—1890~1899年間の
歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光栄、Kenji Kenneth
Shimizu『日本歯科医史学会々誌』21(2)76-83

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第7報—1900~1904年間の

歯科及び歯科教育の貢献者像」尾島光栄、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』21(2)84-90

「軍陣歯科学(第6報)一軍隊病学、[口腔外科]講義録一(抄)」落合俊輔、佐久間優、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)18-19

「60年前の歯科学学生の生活状況(抄)」落合俊輔、渋谷鉦、石橋肇、吉井秀鑄、山口秀紀、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)205-206

「日本南九州地方の歴史上初期古墳で発掘された歯の大きさについて(英文)」Oyamada Joichi, Manabe Yoshitaka, Kitagawa Yoshikazu、外2名『Anthropological Science』103(1)49-60

「明治元年米国ニューヨーク州で制定された歯科医師法並びに付則の書誌学(抄)」春日芳彦、森山徳長、小幡哲夫、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』21(1)26-27

「1802年米国で2番目に出版された Longbothom の啓蒙書の書誌学的研究(抄)」春日芳彦、森山徳長、塩津二郎『日本歯科医史学会々誌』21(1)27-28

「米国各州における歯科医師法制定の軌跡について(抄)」春日芳彦、森山徳長、田辺明、栗山美子、石川達也『日本歯科医史学会々誌』20(3)218-219

「横浜開港と近代歯学の夜明け(抄)」加藤増夫『神奈川医学会雑誌』22(2)370-372

「グッドマンのダイナミック歯科治療学(第2報)」金子義郎、

豊永寿博、松中祐二、岩井貞雄、嶋村昭辰、上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』20(3)194-196

「瑞穂屋清水卯三郎の業績(その2)歯科材料及出版業界での業績(抄)」亀谷博昭、森山徳長、竹島弘道、本間孝、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』21(1)9-10

「会告 第23回日本歯科医史学会総会および学術大会 新國俊彦先生の御逝去をいたんで」工藤逸郎『日本歯科医史学会々誌』20(3)163-164

「リングライズド・オクルージョンの臨床 有床義歯に付与されてきた咬合接触様式の歴史的背景」小出肇、佐藤利英、樋口昌男、外1名『Quintessence (of) Dental Technology』20(2)229-236

「九州歯科学会総会における W. Meyer について」小林繁、福山宏、梶山稔、向野明甫、松中祐二、上西秀則、石木哲夫、上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』20(3)191-192

「帝国大学医学部歯科の軌跡」榊原悠紀田郎『日本医史学雑誌』41(3)426-428

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 榎本美彦(1885-1971)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』14(1)159-164

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 北村一郎(1884-1968)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』14(2)434-437

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 入交直重(1887-1960)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』14(3)655-659

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 杉山元治郎(1886-1964)」

榑原悠紀田郎『The Quintessence』14(4)893-897
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 川合渉(1885-1959)」榑原悠紀田郎『The Quintessence』14(5)1155-1158
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 三内多喜治(1887-1955)」榑原悠紀田郎『The Quintessence』14(6)1385-1388
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 北村宗一(1887-1962)」榑原悠紀田郎『The Quintessence』14(7)1639-1643
「学校看護法大意について(抄)」佐久間優、石橋肇、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)28-29
「明治時代の小児科学書 [児科必携] にみられる歯科口腔疾患の内容(抄)」佐久間優、渋谷鉦、石橋肇、落合俊輔、向井康子、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)207-208
「戦前本邦における歯科放射線学書発達史の比較書誌学的研究(抄)」塩津二郎、森山徳長、福本裕、春日芳彦、高崎一郎『日本歯科医史学会々誌』21(1)31-32
「最初期歯科X線診断学の文献的研究(第3報)(抄)」塩津二郎、森山徳長、亀谷博昭、福本裕、本間孝『日本歯科医史学会々誌』20(3)206-207
「歯科用薬品の歴史 鎮痛消炎剤基礎編」篠原光子、大浦清『歯科ジャーナル』41(1)129-135,147-153
「第10回日本医学会における歯科と医史学的内容について(抄)」渋谷鉦、石橋肇、大場重信、村木春長、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)202-203
「羅葡日対訳辞書と和蘭字彙に見られる歯科関係用語につい

て(抄)」嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』20(3)187
「小田野直武につながる角館(秋田)の歯科医(抄)」嶋村昭辰、内山長司、梶山稔、福山宏、小林繁『日本歯科医史学会々誌』20(3)198-199
「焼付用合金の所用条件と合金の歴史的変遷 白金系金合金の位置づけ」新谷明喜、吉野友貴『歯科技工』23(2)146-150
「葛原勾当日記にみる歯痛と気象(抄)」新藤恵久『日本医史学雑誌』41(2)286-287
「葛原勾当日記」にみる歯痛と気象(抄)」進藤恵久、長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』21(1)20-21
「『御用控帳』にみる木床義歯(抄)」進藤恵久、長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』20(3)199
「歯科医史からみた古事記(抄)」杉本茂春『日本歯科医史学会々誌』20(3)214-215
「明治期歯科医学書の文体・用語法の分析的研究(その1)(抄)」高崎一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』21(1)34
「花園天皇の口腔疾患について(抄)」戸出一郎、別部智司、佐藤恭道、森田武、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』21(1)23-24
「藤原定家の歯病に関する考察(抄)」戸出一郎、別部智司、佐藤恭道、森田武、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』20(3)214

「Gysi軸学説の再検討(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』21(1)9

「古代メソポタミアの歯科記述(1102.K)について(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』20(3)217-218

「長崎における歯科医学の歩み(抄)」中西啓『日本歯科医史学会々誌』20(3)184-186

「仏陀の歯相(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』21(1)21-22

「クラウン・ブリッジと歯科用金属の歴史(抄)」永松浩、内田康也、細川隆司『日本歯科医史学会々誌』20(3)188-189

「エナメル質微細構造の歴史(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』41(2)288-289

「硬組織医学の史的背景(その1)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』20(3)193-194

「硬組織医学の史的背景(その2)(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』21(1)11-12

「心腎不交と口内炎(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』21(1)22

「蓄血証における歯科的研究(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』20(3)216-217

「歯科とフッ素の歴史(第1回)—フッ素・推測と発見、単離をめぐる人々」丹羽源男『日本歯科医史学会々誌』21(1)41-46

「歯牙保存療法としての、亜硫酸製剤導入の起源(抄)」長谷

川正康、森山徳長、石川達也『日本歯科医史学会々誌』20(3)200-201

「[私立麻布歯科医学校]の設立願書について—東京都公文書館所蔵資料より—(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)12-13

「医学士三輪徳寛が明治25~28年に調査した[齲歯ノ統計]について(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)202

「明治初年に渡航した歯科医についての一考察(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)190

「Stud型アタッチメントのはじまりと考えられるCarrの“anchored adjustable denture”について」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』20(3)178-181

「歯科補綴学に於けるF. E. Roachの業績について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』21(1)8

「Stud型アタッチメントの始まりと考えられるCarrの“anchored, adjustable, and removable Denture”について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』20(3)189-190

「合着用セメントの歴史と現状」藤井弁次、成川公一『接着歯学』13(2)111-117

「医用蛭の変遷について(抄)」別部智司、森田武、佐藤恭道、戸出一郎、雨宮義弘、樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)24

「Wilhelm Buschの風刺画 Der hohle Zahnについて」別部

智司、佐藤恭道、森田武、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科
医史学会々誌』20(4)241-245

「O-O式咬合器の歴史的考察(抄)」細川隆司、永松浩、内田
康也、小林繁、向野明甫『日本歯科医史学会々誌』20(3)
188

「[西洋歯科医の草分け・一井正典の足跡を訪ねて] ジュゲ
リット先生を語る会(抄)」松本晋、渋谷敦『日本歯科医史
学会々誌』20(3)210

「第11回ムシ歯予防デーに配布された小冊子について(抄)」
向井康子、渋谷敏、石橋肇、鈴木邦夫、加來洋子、谷津三
雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)209-210

「通俗病理問答全の内容(抄)」向井康子、山口秀紀、渋谷敏、
谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)32-33

「S. Spooner 著 Guide to Sound Teeth の書誌学的研究(抄)」
森山徳長『日本歯科医史学会々誌』20(3)200

「英語圏における初期歯科医学文献発達史に関する考察(そ
の1)モートンの5版による論考(抄)」森山徳長『日本歯科
医史学会々誌』21(1)25-26

「I. C. D.創設者 Louis Ottofy のフィリッピンにおける活動と
業績の書誌学的研究」森山徳長、春日芳彦、高添一郎、長
谷川正康『日本歯科医史学会々誌』21(1)35-40

「米国各州における歯科医師法制定の軌跡について」森山徳
長、春日芳彦、田辺明、栗山美子、石川達也『日本歯科医
史学会々誌』21(1)47-49

「明治大正期歯科医術開業試験受験書の比較書誌学的研究」
森山徳長、塩津二郎、亀谷博昭、石川達也、長谷川正康
『日本歯科医史学会々誌』20(4)246-250

「本学教授陣および出身者の旧制医学博士学位受領者の分析
的研究(抄)」森山徳長、山岸東太郎、長谷川正康、石川達
也『日本歯科医史学会々誌』20(3)191

「[[病草紙]にあらわれた歯科疾患風俗に関する一考察]
(抄)」屋代正幸、藤野瑠男、小林一日出、湯浅高行『日本
歯科医史学会々誌』20(3)216

「高山歯科医学院に始まる東京歯科大学学則の分析的考察
(その1)高山歯科医学院学則の変遷(抄)」山岸東太郎、森
山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』
21(1)14-15

「問田亮次教授の思い出集より(抄)」山口秀紀、渋谷敏、石
橋肇、落合俊輔、吉井秀鑄、谷津三雄『日本歯科医史学
会々誌』20(3)212

「小島原泰民と歯科病理書(抄)」山口秀紀、向井康子、石橋
肇、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)33-34

「日本海軍歯科医科士官の歴史(Ⅷ)(抄)」山崎智『日本歯科
医史学会々誌』20(3)203-204

「[群馬県下に残る道了様信仰と福岡県下に残る道了神社信
仰の接点と考察(抄)]湯浅高行、藤野瑠男、小林一日出、
屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』20(3)215-216

「昭和7年当時の歯科新聞の記事から(抄)」吉井秀鑑、渋谷

鉦、石橋肇、山口秀紀、佐久間優、谷津三雄『日本歯科医
史学会々誌』20(3)204-205

22 史跡・記念碑

「西紀町のアスケレピオス像(抄)」石原理年『日本医史学雑
誌』41(2)278-279

「横浜根岸外国人墓地に残る小児の墓(会議録)」佐分利保雄
『神奈川医学会雑誌』22(1)200-201

「ブダペストの医学史跡瞥見」高橋昭『現代医学』43(1)
199-203

23 疾 病 史

「サルコイドーシスの病因：歴史的考察と現在の動向」江石
義信『病理と臨床』13(6)813-821

「痛風とその研究の歴史 痛風の黎明期」赤岡家雄『高尿酸
血症と痛風』3(1)86-88

「大動脈炎症候群(高安動脈炎)歴史的見地(英文)」ItoIwao
『Japanese Heart Journal』36(3)273-281

「日本における大動脈瘤外科の歴史」井上正『日本血管外科
学会雑誌』4(5)595-600

「日本に於ける癲癇性精神病の歴史的展望(英文)」Onuma
Teiich『Psychiatry and Clinical Neurosciences』49(4)
179-183

「わが国におけるアルコール性肝硬変研究の歴史と現状」奥

平雅彦『肝・胆・膵』30(1)85-95

「糖尿病の歴史とインスリンの発見」堀田饒『日本臨床内科
医学会誌』10(4)135-142

「アレルギーと化学伝達物質の歴史」木村義民、大国寿士
『アレルギーの領域』2(8)1001-1008

「喘息治療の歴史と展望(1)」小林節雄『アレルギーの領域』
2(9)1210-1212

「アレルギーと気管支喘息」酒井シヅ『アレルギーの領域』
2(2)225-227

「アレルギーの歴史 アレルギーあれこれ」酒井シヅ『アレ
ルギーの領域』2(3)368-370

「アレルギーの歴史②アレルギーの年齢と Pirquet の死」酒
井シヅ『アレルギーの領域』2(1)84-85

「喘息の歴史閑話 12 気管支喘息の歴史2」酒井シヅ
『ASTHMA』8(1)146-147

「パレ全集にみられる狂犬病の記述(抄)」高山直秀『日本歯
科医史学会々誌』21(1)15-16

「ペスト残影 その3「ペストの搭 (Postsäule)」について
(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』22(1)200

「ペスト残影 その4—ペストのメダルについて—(抄)」滝上
正『神奈川医学会雑誌』22(2)370

「職業アレルギーコンニャク喘息の歴史」中澤次夫『アレル
ギーの領域』2(4)475-478

「日本の群馬県に於ける前立腺癌の疫学的特徴(英文)」

Nakata Seiji, Sato Fin, Imai Kyoichi、他『International Journal of Urology』2(3)191-197

「NOMA(水癌)盛衰史」中原泉、加藤譲治『日本歯科医史学会々誌』21(2)61-75

「中世およびルネサンスのヨーロッパにおける疾病史への新しいアプローチ」ナンシー・G. シライシ『科学医学資料研究』(248)1-12

「占領下のこども医療史エキリ物語(1)日本占領」二至村菁『小児内科』27(7)1064-1066

「糖尿病学史探訪 膵臓の神秘に魅せられた人々(1)」二宮陸雄『Diabetes Journal(糖尿病と代謝)』23(1)28-31

「C型肝炎ウイルス臨床の歴史、現状および問題点」藤原研司、持田智『Medical Practice』12(11)1538-1546

「ハンセン病とダミアン神父(1)」古川明『けんさ』25(2)25-28

「人アジュバント病の歴史」三好和夫『感染・炎症・免疫』25(2)110-119

「食物アレルギーの歴史」森川昭広『アレルギーの領域』2(5)597-599

「日本の検疫所におけるペスト防疫の歴史」森田秀実『メディアサークル』40(1)9-16

「古人骨からみた日本の特殊性炎」森本岩太郎『日本赤十字看護大学紀要』(9)1-7

「Hans Berger とうつ病(その2)」山口成良『精神神経学雑

誌』97(6)453

「てんかん、てんかん症候群分類の歴史的背景」渡辺一功『小児内科』27(9)1239-1243

「日本に於ける部位特異的癌登録の歴史及び概観(英文)」Watanabe Shaw, Yamaguchi Naohito, Kinjo Yoshihide『Gann Monograph on Cancer Research』(43)1-8

24 耳鼻咽喉科史

「19世紀における耳鼻咽喉科学の歴史」VosteenKarl-Heinz、中島章雄『耳鼻と臨床』41(4)579-583

「幼小児難聴への対応診断学の発達史の歴史と現況」安野友博『日本耳鼻咽喉科学会会報』98(10)1773-1774

「古典あれこれ クリーブランド大統領の上顎切除と組織診断の真相」犬山征夫『Johns』11(1)96-101

「古典あれこれ 頭頸部癌に対する遷延分割照射法の先駆者 Henri Coutard」犬山征夫『Johns』11(3)462-467

「人工中耳の歴史」鈴木淳一、小寺一興『Johns』11(4)507-515

「人工内耳の歴史 その手術を中心として」船坂宗太郎、河野淳『Johns』11(4)537-542

25 種痘史

「天然痘撲滅の長い旅路 五 長崎ではじめて牛痘接種に成功した橋本宗建」深瀬泰旦『JMS』(12)72-73

- 「天然痘撲滅の長い旅路 六 雪の栃ノ木峠をこえて牛痘苗を福井にはこんだ笠原良策」深瀬泰旦『JMS』(13)88-89
- 「天然痘撲滅の長い旅路 七 緒方洪庵と大坂除痘館」深瀬泰旦『JMS』(14)60-61
- 「天然痘撲滅の長い旅路 八 お玉ヶ池種痘所設立の中心人物伊東玄朴」深瀬泰旦『JMS』(15)60-61
- 「尾張・三河の種痘史 補遺(抄)」山田英雄、山内一信、高橋昭『日本医史学雑誌』41(2)188-189

26 獣医学史

- 「仮名安驥集にいうハントフンの語源とその刺血量についての一考察(抄)」間庭秀信『日本獣医史学雑誌』(32)48
- 「《くまざさ》乃木将軍と武藤獣医」大山健次『日本獣医史学雑誌』(32)53-56
- 「西安周辺史跡・文物：秦始皇帝兵馬俑・騎馬壁画など(抄)」亀谷勉『日本獣医史学雑誌』(32)51
- 「《研究ノート》肥前松島・大島および寺島における馬垣遺構(1)」小佐々学『日本獣医史学雑誌』(32)44-46
- 「坪井信良翻訳[獣医全書]を巡って(抄)」坂本勇『日本獣医史学雑誌』(32)47
- 「[悪馬新当流三五の秘伝書]について(抄)」島田謙造『日本獣医史学雑誌』(32)50
- 「《研究ノート》備後福山藩における馬医の処遇に関する考察」島田謙造『日本獣医史学雑誌』(32)40-43

- 「《創立20周年記念講演》世界の馬文化：古代の美術表現から」末崎真澄『日本獣医史学雑誌』(32)1-7
- 「《研究ノート》絵巻物にみる中世獣医史料(1)」中井薫『日本獣医史学雑誌』(32)31-39
- 「日本の女性獣医師について(抄)」長尾荘七『日本獣医史学雑誌』(32)47
- 「《創立20周年記念講演》有蹄動物渡来史考」中川志郎『日本獣医史学雑誌』(32)8-17
- 「《創立20周年記念講演》獣医学関係図書の歴史：東西古書・古資料の管見」松尾信一『日本獣医史学雑誌』(32)18-30

28 書誌学

- 「池田文書の研究(十三)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』41(1)121-129
- 「究理堂文庫所蔵資料の展示活動記録」小石秀夫『医譚』(69)4076-4084
- 「東京歯科大学所蔵稀覯本洋書伊澤家文庫の研究(その1)分類・カタログ作製について(抄)」塩津二郎、森山徳長、春日芳彦、石川達也『日本歯科医史学会々誌』21(1)13-14
- 「『医戒』について」津下健哉『広島医学』48(11)1252-1257
- 「『扶氏診断』訳者への疑問 一島村鼎甫の可能性一(抄)」津下健哉『日本医史学雑誌』41(2)182-183
- 「戦前に刊行された医学書目録(PR用)の二、三」長門谷洋

治『北陸医史』16(1)30-40

「長崎家収蔵の『折肱録』について(抄)」正橋剛二『日本医学雑誌』41(2)214-215

「幻雲が引用した『東垣十書』(抄)」真柳誠、宮川浩也、小曾戸洋『日本医学雑誌』41(2)256-257

29 小児科史

「学校心臓検診のポイント(1) 学校心臓検診の目的と歴史」
大國真彦『循環科学』15(1)66-69

「小児てんかん治療の歴史と展望」大塚頌子、大田原俊輔
『小児内科』27(8)1073-1077

「成長ホルモンによる治療の進歩 歴史」鎮目和夫『日本内
分泌学会雑誌』71(6)727

「我が国の添い寝に関する歴史的考察(会議録)」西堀光重、
外5名『小児保健研究』54(2)142

30 神経学史

「神経発達学的治療(NDT、Bobath)の歴史、原理と経験」
KoengE(スイス)『療育』(36)10-15

「重症心身障害児(者)医療の今後に期待するもの歴史的背景
および公法人立施設における問題点と今後への対応」江草
安彦『医療』49(増刊)240

「わが国の脳神経外科の黎明(総説)」佐野圭司『Clinical
Neuroscience』13(3)358-359

「神経伝達物質の研究史—11(最終回)アミノ酸とその関連物
質」佐野豊『ミクروسコピア』12(1)22-26

「アテトーゼとジストニー(異常運動と異常姿勢)アテトー
ゼとジストニーの歴史的概観」古川哲雄『神経研究の進
歩』39(3)369-376

31 診断学史

「MRI技術の歴史と今後の期待」遠藤真広『映像情報メデ
ィカル』27(8)458-461

「本邦における内視鏡開発の歴史」降旗廣行『消化性潰瘍臨
床と基礎』14(1)29-35

「産科周産期医療における画像診断法発展の歴史」竹内久彌
『周産期医学』25(増刊)9-18

「心電図診断ガイド心電図の歴史」春見建一『総合臨床』44
(増刊)1001-1010

32 整形外科史

「スポーツ障害に対するテーピング テーピングの歴史と日
本での現状」栗山節郎、川島敏生『骨・関節・靭帯』8(2)
125-131

「華岡青洲の整骨術(第7回)」酒井シヅ『整形外科の先人の
蹟をたずねて』(7)1-4

「四肢切断術その発展と日本への影響」藤田俊夫『オペナ
ーシング』10(7)708-711

「手関節部分固定術の歴史」堀井恵美子、井手隆俊『骨・関節・靭帯』8(8)989-996

33 精神医学史

「一本堂行餘医言卷之五(その一)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)5-23

「癩癩狂辯(完結)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)24-30

「[神経学雑誌] 雑報」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)12-13

「小田晋氏発言の誤り(岡田靖雄)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)39

「呉秀三 [岩蔵覚え書]」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)38

「[心疾者の救護] より関連記事」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)24-39

「精神病患者実験記事(その七)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)32-37

「生生堂治験(完結)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)1-4

「内科教授ドクトル・ベルツ氏申請」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(33)31

「歴史と学派の間における“自己愛”の障害」相田信男『精神分析研究』39(3)159-161

「てんかん外科の温故知新歴史年表」朝倉哲彦『脳神経外科』23(9)831-844

「震災より起れる精神病」池田隆徳『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)18-22

「ハミルトンうつ病評尺度 その歴史と用法(総説)」稲田俊也、八木剛平、中根允文『精神科診断学』6(1)61-71

「精神疾患単位としての同性愛：歴史的展望」稲場雅紀、Kimmel Douglas C.『精神科診断学』6(2)157-170

「中国における精神療法の歴史と現状 特に森田療法について(会議録)」王祖承『森田療法学会雑誌』6(1)37-41

「関東大震災下の精神科医療」岡田靖雄『日本医事新報』(3735)47-51

「憑きもの再論」岡田靖雄『日本医史学雑誌』41(3)425

「現代の精神分裂病 精神分裂病の概念と歴史」風祭元『こころの科学』(60)2-7

「大震と松沢病院の人々」加藤普佐次郎『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)23-30

「松沢病院に於ける大震災に対する経験の二三」加藤普佐次郎『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)22-23

「精神病患者救治の新事業と大震後の精神病患者」金子準二『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)16-17

「大震火災に関する精神病の統計的考察」金子準二『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)5-7

「大震後の東京に於ける精神病患者問題」金子準二『呉秀三先

生記念精神科医療史資料通信』(34)34-36
「本年十月中の公費入院精神病患者に対する考察」金子準二『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)37
「震災と精神病者の救護と本会と」呉秀三『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)1-3
「閉却された精神病者の救済事業」黒沢良臣『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)13-14
「震災時に於ける精神病」小峰茂之ほか『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)21
「今回の震災と精神病」杉田直樹『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)1-4
「災害と精神異常」杉田直樹『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)10-12
「耨耕日記」杉田直樹『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)19-20
「Moritz Heinrich Romber —そのプロフィールと「脊髄癆」・「半側顔面萎縮症」・「群発頭痛」の原著—(抄)」高橋昭、伊藤泰広、白水重尚『日本医史学雑誌』41(2)308-309
「大震災に突発せる神経症に就いて」竹谷精一『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(35)8-11
「リエゾン精神医学その概念、歴史、現状および展望」中島節夫、三浦貞則『作業療法ジャーナル』29(9)725-730
「20世紀前半のアメリカ合衆国における精神薄弱者の優生断種史」中村満紀男『心身障害学研究』(19)13-22

「震災後の精神病患者に就て」橋健行『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)15
「アメリカにおけるアルコール依存症治療の現状」林田基『アルコール依存とアディクション』12(2)132-140
「大震災火災と精神異常との関係」三宅鑑一『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)7-9
「今回の震災に由る小児神経症状に就いて」紋谷正男『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(34)37-39
「名古屋市自閉症療育に関する一考察 その歴史の変遷および現状と課題」山田陽子、北山達成、石川道子『小児の精神と神経』35(1)13-21

35 西洋医学史

「イギリス医療文化史の旅」石田純郎『医譚』(69)4068-4074
「続 ギリシア医療文化史の旅」石田純郎『医譚』(68)4035-4043
「マルシリオ・フィチーノの健康論」伊藤和行『日本医史学雑誌』41(1)29-40
「絵ハガキで見るパリの古い病院(1)」今泉孝『医譚』(69)4085-4086
「幕末から明治中期にかけての英米系医学の受容(抄)」大滝紀雄『日本医史学雑誌』41(2)240-241
「アメリカ総合臨床医学の歴史」竹村洋典『治療』77(3)

1227-1232

「ロンドン病院博物館報告(例会)」山根信子『日本医史学雑誌』41(3)430-431

37 生理学史

「功績の予後 唾液腺の内分泌作用をめぐる物語」山科正平『ミクロスコピア』12(2)102-105

38 地方史

「私説・平岡山物語について(抄)」伊崎公德『北陸医史』16(1)1

「幕末における千葉県の医療制度に関する考察(2) 佐倉藩の医療制度改革(2)」石出猛史『千葉医学雑誌』71(1)1-6

「芸南の先人たち 特に『迨孫疫痢考』をめぐる(抄)」江川義雄『日本医史学雑誌』41(2)186-187

「華岡青洲から手術を受けた佐渡の廻船問屋の息子の記録 文化10年『海陸道順達日記』から」蒲原宏『新潟県医師会報』(540)30-33

「横浜市根岸外国人墓地に残る小児の墓(会議録)」佐分利英雄『神奈川医学会雑誌』22(1)200-201

「飛騨の庶民・農民の生活史から得られたもの—往還寺過去帳の研究(抄)」須田圭三『日本医史学雑誌』41(2)163-167

「北陸における東洋医学の史的展開」多留淳文『日本東洋医学雑誌』45(5)49-50

「捷弁治集と美濃医書」中泉行信、中泉行史、斎藤仁男『臨床眼科』49(3)550-551

「尾張藩・名古屋を中心とした江戸時代の医療の流れ(抄)」奈倉道治『日本医史学雑誌』41(2)175-181

「『高岡詩話』にみる医史学的記述(上)」正橋剛二『北陸医史』16(1)56-69

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その58-60)」森重孝『鹿児島市医報』34(4, 6, 10)51-53, 62-63, 80-83

39 治療史

「河童伝承薬と南蛮医学」飛見一郎『北陸医史』16(1)41-49

「癌放射線療法 放射線治療の歴史」阿部光幸『癌の臨床』別冊(癌放射線療法)3-11

「治療の歴史 胃粘膜防御因子増強薬」荒川哲男、樋口和秀、小林純三『治療学』29(7)821-826

「血液浄化の歴史」稲生綱政『Clinical Engineering』6(5)316-320

「頭頸部癌に対する遷延分割照射法の先駆者Henri Coutard」犬山征夫『Johns』11(3)462-467

「治療の歴史 CCU」今村浩、関口守衛『治療学』29(5)603-605

「治療の歴史 経口抗アレルギー薬の開発」氏家新生、飯塚欣二『治療学』29(2)229-235

「輸血と法 歴史的観点から」宇都木伸『日本輸血学会雑誌』

41(3)12
「治療の歴史 経口糖尿病治療薬」加来浩平『治療学』29(4)
483-486
「治療の歴史 カテーテルアブレーション」笠貫宏『治療学』
29(9)1059-1065
「癌治療の現状と将来乳癌の外科療法歴史、現状と問題点」
霞富士雄『臨床成人病』25(5)605-611
「機能的電気刺激(FES)の理論と実際 電気療法の歴史」川
村次郎『臨床整形外科』30(2)147-153
「スポーツ障害に対するテーピング テーピングの歴史と日
本での現状」栗山節郎『骨・関節・靭帯』8(2)125-131
「体性感覚誘発電位 体性感覚誘発電位の歴史、現状、未来」
近藤和泉、岩田学、中村正直『理学療法研究』(12)3-17
「抗生物質療法の歴史と変遷感染症治療の理解と実施のため
に」嶋田甚五郎、横田栄作『Medical Practice』12(臨増)
2-15
「目で見る人工腎臓物語(3)(1)人工腎臓(血液透析)(3)オル
オールとコルフ(アメリカ)人工腎臓の時代(1940年中期
以後)(図説)」白井洸『Medical Postgraduates』33(1)1-6
「目で見る人工腎臓物語(4)(1)人工腎臓(血液透析)(4)コル
フ・ブリガム人工腎臓と朝鮮戦争(1950年代)(図説)」白井
洸『Medical Postgraduates』33(2)73-78
「目で見る人工腎臓物語(5)人工腎臓血液透析日本の人工腎
臓(1)」白井洸『Medical Postgraduates』33(3)125-128

「平安朝物語類の中の医学(二)」白崎昭一郎『北陸医史』16
(1)50-55
「山脇一門と鳥羽の姫薬」宗田一『啓迪』(13)31-33
「治療の歴史 アスピリンの抗血栓療法」寺田秀夫『治療学』
29(1)115-118
「江戸前中期の瀉血療法(抄)」友部和弘、真柳誠『日本医史
学雑誌』41(2)196-197
「日本における血液学・輸血学史の流れより(抄)」日比野進
『日本医史学雑誌』41(2)158-162
「古代における瀉血(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』41
(2)194-195
「治療の歴史緩和ケア、ホスピスケアの発達と医療倫理のあ
り方」星野一正『治療学』29(6)707-710
「『医心方』にみる古代人の知恵 1 丹波康頼と『医心方』」
横佐知子『医道の日本社』54(3)136-137
「『医心方』にみる古代人の知恵 2 モグサの薫法と変った灸
法」横佐知子『医道の日本社』54(4)157-158
「『医心方』にみる古代人の知恵 3 灸とツボについて」横佐
知子『医道の日本社』54(5)96-97
「治療の歴史 プロブコール」山下静也、松沢佑次『治療学』
29(3)357-364

40 伝 記

「追悼 赤松金芳先生」大村敏郎『日本医史学雑誌』41(1)

131-133

- 「浅野総一郎とコレラ(抄)」荒井保男『神奈川医学会雑誌』22(1)201
- 「アヴィセンナ『医学の歌』12」志田信男(解説・訳注)『伝承と医学』(12)4-16
- 「アロイス・アルツハイマーのお墓」生田房弘『ミクロスコピア』12(1)28-30
- 「本邦癩病史上に於ける南蠻流外科の祖 伊留満 Luis de Almeida」鈴木元造『医譚』(68)4021-4032
- 「アレキサンドル伝補遺(抄)」下総高次『日本歯科医学史学会々誌』20(3)212-214
- 「石阪堅壯(肝吸虫発見者)の著述について(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』41(2)184-185
- 「近代日本における西洋医学の偉大な貢献者英医ウィリアム・ウィリス」Cortazzi Sir Hugh『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)7-11
- 「ウィリアム・ウィリスの門下生たち」森重孝『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)13-21
- 「偉大なイギリス人、ウィリアム・ウィリス」Manders Charles RS『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)25-26
- 「日本近代西洋医学の夜明け(英医ウィリアム・ウィリス)」佐藤八郎『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)27-31
- 「英医ウィリアム・ウィリスについて」鮫島近二『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)33-37

- 「ウィリアム・ウィリスの学位論文：“Theory of Ulceration”(潰瘍形成論)(1859)医学生時代の学習教科」尾辻省悟『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)39-47
- 「潰瘍形成論(1859)」Willis William『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)57-64
- 「ウィリアム・ウィリスの墓と遺言書」尾辻省悟『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)65-72
- 「William Willisとエジンバラ大学との関係(英文)」Barron Tom『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)81-82
- 「ウィリスと高木兼寛」松田誠『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)83-87
- 「W・ウィリス(William Willis)と私」中須賀哲朗『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)89-92
- 「越後・会津とウィリス明治元年、越後・会津へのウィリスの従軍医療が残したもの」中澤剛『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)93-97
- 「英医ウィリアム・ウィリスと上村泉三」鮫島信一、鮫島由美子、野添良隆『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)99-104
- 「ウィリス博士縁りの地を訪ねて William Willisに関する記録補遺」松下敏夫『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)105-108
- 「ウィリスの足跡を追って」新名主聡『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)109-111

「人と術と風景と（ウィリスを巡る人々）」河内浩志『鹿児島大学医学雑誌』47(Suppl.1)113-114
「浮田幸吉の墓について(抄)」進藤忠久、大野肅英『日本歯科医史学会々誌』20(3)197-198
「宇良田唯子とその時代(抄)」三崎裕子『日本医史学雑誌』41(2)234-235
「鴉外の『題言』から見えてくるもの—フリードリヒ・エステルレンを中心に—」梶田昭『医学史研究』(68)232-235
「名古屋における太田正雄」長門谷洋治『日本医史学雑誌』41(2)200-201
「海軍大医監 奥山虎炳(1840—1926)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』41(3)321-348
「産科医兼子元隣とその著書『産科成解』(1)(抄)」奈倉道治『日本医史学雑誌』41(2)192-193
「カハール先生のふるさとを訪ねて—1」生田房弘『ミクロスコピア』12(4)234-242
「『新科学論議』におけるガリレオの連続性概念」中根美知代『科学史研究』33(192)193-199
「1888年ベルリン衛生試験所における北里柴三郎の写真について(2)(抄)」上瀉口武、上西秀則、萩原義郷、内山長司『日本歯科医史学会々誌』20(3)196-197
「人と時代 遺伝学の青春時代 その二 木原均 スキーも生物学も」岡部昭彦『ミクロスコピア』12(2)106-110
「人と時代 遺伝学の青春時代 その三 順風に船出する木原

均」岡部昭彦『ミクロスコピア』12(3)182-187
「人と時代 遺伝学の青春時代 その四 木原均 30代前半でのエスタブリッシュ」岡部昭彦『ミクロスコピア』12(4)265-269
「クリーヴランド大統領の上顎切除術と組織診断の真相」犬山征夫『Johns』11(1)96-101
「ゲートにおける病氣と医師像」戸沼康平『昭和薬科大学紀要』(29)25-34
「ゲートの精神障害観(第2報) ヴイルヘルム・マイスターの修業時代」高橋正雄『心と社会』26(1)102-110
「東西医学交流史の側面—脳研究者ハルトヴィヒ・ケーレンベック(1879-1984)の意識論の背景」濱中淑彦『日本医史学雑誌』41(2)312-313
「「千年の美」に感動したシーボルトの日本紀行」望月洋子『新潮45』14(12)154-163
「シーボルトの臨床医学—『蘭方口伝(シーボルト驗方録)』の検討」中村昭『日本医史学雑誌』41(1)75-111
「種痘の開発者、田舎の外科医ジェンナーの英国医療界における社会的位置付けの検討」石田純郎『新見女子短期大学紀要』16, 49-56
「日本におけるカスパル・シヤムベルゲルの活動について」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』41(1)3-28
「初代曲直瀬道三の癩医学」鈴木則子『日本医史学雑誌』41(3)349-368

「鍼灸老舗の人々(53)～(63)山本新梧(6)～(16)」上地栄
『医道の日本』54(2-12)198-201, 187-190, 170-172, 181-
184, 201-204, 199-202, 200-203, 191-194, 180-183,
182-186, 180-183
「鍼聖杉山和一伝(四十)天の巻」斎藤末一郎『経絡鍼療』27
(8)45-49
「杉山和一の屋敷と杉山流鍼灸講習所について(1)」香取俊
光『医道の日本』54(10)110-116
「故鈴木元造君の追憶」山中太木『医譚』(68)4019-4020
「古典あれこれ 形成外科の父 Graspore Tagliacozzi の生涯
と仕事」犬山征夫『Johns』11(9)1446-1451
「形成外科の父 Gaspare Tagliacozzi の生涯と仕事」犬山征夫
『Johns』11(9)1446-1451
「杉田玄白門人高峰幸庵について(抄)」津田進三『日本医史
学雑誌』41(2)218-219
「老年医学を創った人びと橘寛勝先生」金子仁郎『Geriatric
Medicine』33(8)1023-1025
「先達医家の肖像 <61> Vincenz von Czerny (1842-1916)」
酒井シヅ『Medical Digest』(337)巻末
「中国名医外伝 1—華佗伝—」今村神鍼『医道の日本』54
(9)148-153
「中国名医外伝 2—扁鵲伝—」今村神鍼『医道の日本』54
(10)164-169
「中国名医外伝 3—孫思邈(孫真人)伝—」今村神鍼『医道

の日本』54(12)164-167

「維新を生きた津下積斎の生涯」津下健哉『適塾』(28)
34-47

「先達医家の肖像 <62> Henri Dunant (1828-1910)」酒井シ
ヅ『Medical Digest』(338)巻末

「先達医家の肖像 <63> Guillaume Dupuytren」酒井シヅ
『Medical Digest』(339)巻末

「暉峻義等の社会衛生学への傾斜(抄)」三浦豊彦『日本医史
学雑誌』41(2)244-245

「頭頸部癌に対する遷延分割照射法の先駆者 Henri
Coutard」犬山征夫『Johns』11(3)462-467

「徳川昭武公の「順天堂入院日誌」をめぐって」中西淳朗
『戸定論叢』(4)88-103

「徳川昭武公の「順天堂入院日誌」について(第1報)(抄)」
中西淳朗『日本医史学雑誌』41(2)264-265

「古典あれこれ 咽頭癌に対する Combined lateral pharyngo-
tomy を開発した Wilfred Trotter」犬山征夫『Johns』11
(12)1862-1867

「長崎敬明(蓬州)の受けた法橋允免状—補遺—」正橋剛二
『医譚』(69)4047-4051

「長崎敬明の法橋允許(印可)状をめぐって」正橋剛二『医
譚』(68)4003-4010

「長崎蓬州の年譜について」正橋剛二『医譚』(69)4053-
4060

「永富独嘯庵(『漫遊雜記』一七六三年にみる「狂」の用語について) 小曾戸明子『日本医史学雑誌』41(2)208-209

「永富独嘯庵(漫遊雜記)にみる神経症概念について」小曾戸明子『日本医史学雑誌』41(3)432

「医療と歴史との接点を求めて 華岡青洲のこと」大村敏郎『医薬の門』35(1)2-5

「華岡青洲から手術を受けた佐渡の回船問屋の息子の記録文化10年「海陸道順達日記」から」蒲原宏『新潟県医師会報』(540)30-33

「華岡青洲とその業績(その3)」泉雄勝『乳癌の臨床』10(1)145-149

「花澤鼎先生資料(抄)」田熊庄三郎『日本歯科医史学会々誌』21(1)7

「「花園天皇宸記」に表われる花園天皇の口腔並に顔面の疾病について」戸出一郎『日本医史学雑誌』41(2)284-285

「先達医家の肖像 <58> Joseph Francois Felix Babinski (1857-1932)」酒井シヅ『Medical Digest』(334)巻末

「蘭方医術に先駆けた黒田藩医 江戸時代から現代へ、歴史を歩いた原三信」太田正行『FUKUOKA STYLE』(12)105-112

「ハンセン病とダミアン神父」古川明『杉並区医師会雑誌』(12)135-140

「ジョン・ハンター再考」栗本宗治『日本医史学雑誌』41(2)302-303

「J. Hunter の実験と死因(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』20(3)193

「フィレンツェにナイチンゲールの歴史を求めて」大石杉乃『総合看護』30(1)27-32

「人と時代 ヴェルツブルクのレントゲン—X線発見百年」池田和彦『ミクロスコピア』12(4)258-263

「資料・金沢医学館卒業生藤井貞為について」寺畑喜朔『北陸医史』16(1)7-16

「富士川游と看護療法」平尾真智子『日本医史学雑誌』41(2)202-203

「藤浪鑑先生病症記・葬送記及び追悼文集について」杉立義一、杉山武敏『日本医史学雑誌』41(2)204-205

「藤浪鑑先生の医史的検証」杉立義一『日本癌学会54回総会記事』47

「日蘭史断章67 さまよえるオランダ人医学教師ファン・デル・ヘーデン」蒲原宏『ウインドミル』(79)22-23

「先達医家の肖像 <59> Moritz Benedikt (1835-1920)」酒井シヅ『Medical Digest』(335)巻末

「先達医家の肖像 <60> Hans Berger (1873-1941)」酒井シヅ『Medical Digest』(336)巻末

「マルチェッロ・マルピーギの医学論」伊藤和行『日本医史学雑誌』41(2)306-307

「三浦梅園の長崎旅行について(抄)」上瀧口武、嶋村昭辰、内田康也、梶山稔、小林繁『日本歯科医史学会々誌』20

(3)220-221

「明治42・6・9『山陰新聞』所載「森軍医総監の演説」について—矛盾と偽瞞の構造—」志田信男『伝承と医学』(12)31-42

「衛生学者森鷗外と牛乳」春田三佐夫『Modern Media』41(6)245-249

「丸山博著「森鷗外と衛生学」をめぐる読書のノート(下)」高橋実『医学史研究』(68)246-251

「山脇東洋の思想」山田慶兒『啓迪』(13)15-25

「古典あれこれ 聴診器の発明者 Rene Laennec の生涯と仕事」犬山征夫『Johns』11(4)606-611

「プロフィール Wilhem Conrad Rontgen (1845-1923) 酒井シヅ『Clinical Neuroscience』13(7)124

「アルブレヒト・フォン・ローレツの研究(2)(抄)」小形利彦、エリック・ラブル『日本医史学雑誌』41(2)212-213

「精神科病医アルブレヒト・フォン・ローレツ(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』41(2)210-211

「魯迅日記における医療(第三報)医療関係者・医療機関補遺」泉彪之助『福井県立大学看護短期大学部論集』(2)11-18

「魯迅医学筆記について」泉彪之助『日本医史学雑誌』41(2)198-199

41 伝記(双)

「医学系の海外留学生(韓国1896-1945)(抄)」奇昌徳『日本医史学雑誌』41(2)238-239

「江馬家文書世界を生きた人々(抄)」岩崎鐵志『日本医史学雑誌』41(2)168-174

「三人の玄良と一人の虎章—海軍大軍医奥山虎章について」深瀬泰旦『慈恵医大小児科教室同窓会会誌』6-22

「和蘭陀医河口家の新らしく判った話」川島恂二『古河市医師会報』(27)1-4

「三人の玄良と一人の虎章—海軍大軍医奥山虎章(例会抄録)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』41(3)436

「A. F. Schweigger 博士伝の断片ならびに Leibnitz の宣教計画遂行のための協会について(II)」安田純一『医譚』(69)4061-4066

「神経学の祖—Romberg と川原汎」高橋昭『臨床神経学』35(12)1313-1321

「アンリ・デュナンとソルフェリーノ」古川明『けんさ』24(4)19-22

「楡林家と小倉(抄)」上瀉口武、藤英俊、児玉淳、嶋村昭辰、福田仁一、向野明甫『日本歯科医史学会々誌』20(3)219-220

「『日本聖公会教役者名簿』記載の来日外国人医師について(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』41(2)232-233

「W.ハーヴィとJ. S.エルショルツ」松木明知『科学医学資料

研究』(247)14-16

「モルヒネと二人の文学者—山本七平と正岡子規の闘病記よ

り—」宮本法子『伝承と医学』(12)44-47

「山脇一門と小石元俊」小石秀夫『啓迪』(13)34-37

「山脇家・賀川家交流史考」杉立義一『啓迪』(13)38-45

42 伝染病史・防疫史

「雲夢睡虎地秦墓竹簡にみるらい病の診断と法律(抄)」猪飼祥夫『日本医史学雑誌』41(2)248-249

「ペスト菌発見100年(総説)」大滝紀雄『感染症』25(1)1-4

「20世紀末のペスト禍」五島瑳智子『臨床と微生物』22(1)76-77

「西洋、中国、日本のジフテリア史素描」中村昭『日本医史学雑誌』41(3)369-394

「疫癘—その出現と消退、そして再生」深瀬泰旦『川崎市小児科医学会誌』(27)55-64

「日本の検疫所におけるペスト防疫の歴史」森田秀実『メディア サークル』40(1)9-16

43 東洋医学史

「中国泌尿器科における中医治療の歴史,現状及び問題点(会議録)」那彦群『日本泌尿器科学会雑誌』86(1)43

「細野史郎先生年譜」『漢方の臨床』42(12)95-97

「江戸時代前半期における近代医学の受容とわが国の古方派

の医説形成との関連についての一考察」秋葉哲生『漢方の臨床』42(10)34-44

「湯本求真の生涯とその医学」秋葉哲生『漢方の臨床』42(11)90-100

「漢代の解剖学」家本誠一『日本医史学雑誌』41(3)428-430

「中国名医外伝(1)華佗伝」今村隆『医道の日本』54(9)148-153

「『素問』・『靈樞』における非医籍からの引用(抄)」岩井佑泉『日本医史学雑誌』41(2)250-251

「アーユルヴェーダ(古代インド医学)」上野霄里『アーユルヴェーダ研究』(23-24)37-42

「現代に生きるアーユルヴェーダ(6) アーユルヴェーダの治療学総論」上馬場和夫『東洋医学』23(1)43-47

「中国医学を知る わが国における中国医学の歴史」大塚恭男『保健の科学』37(1)18-21

「浅井貞庵「方彙講談」女科・啞科・瘍科(1)~(2)」岡利幸、山田博一『漢方の臨床』42(4)449-453,589-593

「吉益東洞顕彰碑 広島大学移転の経緯」小川新『漢方の臨床』42(10)97-100

「多紀元堅の著述」郭秀梅、真柳誠『漢方の臨床』42(10)71-79

「[銭七]は[銭上]の訛(抄)」郭秀梅、岡田研吉『日本医史学雑誌』41(2)262-263

「シルクロードを通った外科術印中医学交流史瞥見」加納

喜光『アーユルヴェーダ研究』(23-24)55-61
「明代の医薬書(その13)」小曾戸洋『現代東洋医学』16(1)
98-101
「目でみる漢方史料館(80)名医の神農像賛—山脇東洋・畑柳
泰」小曾戸洋『漢方の臨床』42(1)2-4
「目で見る漢方史料館(81)みつかった福井楓亭の墓碑拓本」
小曾戸洋『漢方の臨床』42(2)2-4
「目で見る漢方史料館(82)目黒道琢の肖像画」小曾戸洋『漢
方の臨床』42(3)2-4
「目でみる漢方史料館(84)山脇東洋の書跡と処方集」小曾戸
洋『漢方の臨床』42(5)2-8
「目でみる漢方史料館(87)一栢自筆の『難経抄』」小曾戸洋、
真柳誠『漢方の臨床』42(8)2-8
「目でみる漢方史料館(88)一栢の研究した熊宗立本『内経』
古抄本」小曾戸洋、真柳誠『漢方の臨床』42(9)2-8
「目でみる漢方史料館(89)多紀元堅の墨跡」小曾戸洋『漢方
の臨床』42(10)2-8
「目でみる漢方史料館(90)多紀元堅自筆校訂の『扁鵲倉公伝
彙攷』」小曾戸洋『漢方の臨床』42(11)2-8
「多紀元堅の墨跡解説」小曾戸洋、町泉寿郎『漢方の臨床』
42(11)85-89
「月舟寿桂から曲直瀬道三へ『禅本草』をめぐって(抄)」小
曾戸洋、宮川浩也、真柳誠『日本医史学雑誌』41(2)
260-261

「類聚方の現代的意義(会議録)」斎藤謙一『日本東洋医学雑
誌』45(5)213
「アジア伝統医学は提唱する」酒井シヅ『ジャパンポスト』
40(3)194-195
「Natural Born Healers」酒井シヅ『Look Japan』41(472)
24-25
「[八世鳩野宗巴]の医療・福祉実践を通して」坂口寛治
『尚綱短期大学研究紀要』(27)141-157
「インド科学・技術史の研究について」佐藤任『医学史研
究』(68)239-245
「潘桂娟・樊正倫編著『日本漢方医学』に関するノート及び
江戸時代中期の歴史・医文化についての補足〈上〉」杉山
広重『漢方の臨床』42(6)60-71
「潘桂娟・樊正倫編著『日本漢方医学』に関するノート及び
江戸時代中期の歴史・医文化についての補足〈下〉」杉山
広重『漢方の臨床』42(7)43-53
「書評・『神農五千年』」多留淳文『漢方の臨床』42(5)94-95
「東洋医学の重要史料『スシュルタ本集』を古代インドのサ
ンスクリット原典から初めて日本語に完訳した大地原誠玄
先生(石川県出身)」多留淳文『アーユルヴェーダ研究』
(23-24)83-88
「中医学と漢方への正しい認識『衷中參西録』の中の中西両
医学の結びつけ方」張明澄『東洋医学』23(8)69-72
「戦後の国際交流史を語る(1)-(4)」津谷喜一郎『医道の日

本』54(3-6)138-142, 128-136, 166-174, 149-155
「戦後の国際交流史を語る(5)」津谷喜一郎『医道の日本』
54(8)156-161
「戦後の国際交流史を語る パート2(1)-(3)」津谷喜一郎
『医道の日本』54(9-11)96-105, 117-124, 124-133
「伝統医学のデータベース(その1)NAPRALERT」津谷喜一
郎『現代東洋医学』16(1)108-115
「三浦宗春先生の小伝」長谷川弥人『漢方の臨床』42(4)89
「『医心方』にみる古代人の知恵(1) 丹波康頼と『医心方』」
横佐知子『医道の日本』54(3)136-137
「『医心方』にみる古代人の知恵(2) モグサの薫法と変った
灸法」横佐知子『医道の日本』54(4)157-158
「『医心方』にみる古代人の知恵(3) 灸とツボについて」横
佐知子『医道の日本』54(5)96-97
「目で見える漢方史料館(83)新出の曲直瀬道三医書一『医術宣
弁類』(自筆と)『医治通鑑』ほか」松田清『漢方の臨床』
42(4)2-4
「目でみる漢方史料館(85)唐代の薬価記録—トルファン出土
物価(市估)文書」真柳誠『漢方の臨床』42(6)2-8
「目でみる漢方史料館(86)福井・三崎家の宝藏品—越前版
『俗解難経』」真柳誠、小曾戸洋『漢方の臨床』42(7)2-7
「目でみる漢方史料館(91)正倉院の『種々薬帳』」真柳誠
『漢方の臨床』42(12)2-8
「やみの医術 鳩鳥 実在から伝説へ(会議録)」真柳誠『神奈

川医学会雑誌』22(1)201-203
「古典を臨床に生かす傷寒論の読み方(24)」三谷和男『東洋
医学』23(8)77-79
「漢方医学の歴史」矢数圭堂『からだの科学』(増刊)6-10
「漢方略史年表 平成5年(1994)」矢数道明『漢方の臨床』42
(6)94-105
「日本現代史余話(21)「三浦宗春先生の小伝」を読んで思い
出したこと—石黒忠恵の告白」矢数道明『漢方の臨床』42
(10)68-70
「多紀元堅門人録」矢数道明、小曾戸洋『漢方の臨床』42
(10)80-96
「北尾春甫著『当壮庵医按』について(抄)」安井広迪『日本
医史学雑誌』41(2)258-259
「伝統医学の可能性を探る 東洋医学に何ができるか 現代医
学の歴史的背景と位置」矢田修『東洋医学』23(7-9)
37-41, 38-42, 39-43
「ことわざ東洋医学①~③ [医は仁術] という語句の起源を
めぐって その一~三」山本徳子『医道の日本』54(7-9)
188-189, 196-197, 158-159
「ことわざ東洋医学④杏林」山本徳子『医道の日本』54(10)
174-175
「ことわざ東洋医学⑤ [医は三世]」山本徳子『医道の日本』
54(11)180-181
「ことわざ東洋医学⑥ [薬暝眩]」山本徳子『医道の日本』

54(12)176-177

「中国名医の足跡(22)金元四大学説を補足した先哲 項きん」
吉田荘人『東洋医学』23(1)110-111

「中国名医の足跡(23)新奇な名医 葛乾孫」吉田荘人『東洋
医学』23(2)105-108

「中国名医の足跡(24)滋陰学派の伝承者 盛寅」吉田荘人
『東洋医学』23(3)102-104

「中国名医の足跡 医療の普及に努めた先哲陳念祖」吉田荘
人『東洋医学』23(9)77-79

「中国名医の足跡 薬用植物の大家趙学敏」吉田荘人『東洋
医学』23(8)87-88

「中国医学と道教(XVI・西遊記)(抄)」吉元昭治『日本医史
学雑誌』41(2)246-247

「藤原京出土の木簡の薬物の意義とロマントピア藤原京の薬
草園」渡邊武『漢方の臨床』42(6)86-93

44 内 科 学

「胃腸内分泌学：歴史的展望(会議録)(英文)」Debas Haile
T.『日本消化器外科学会雑誌』28(2)225

「本邦最初の血液学書入沢達吉纂訳『血液病理学及図譜』に
ついて(抄)」会田恵『日本医史学雑誌』41(2)266-267

「チェーンーストックス呼吸の歴史的背景」有田秀穂『呼吸
と循環』43(5)425-429

「日本における総合健診の歴史と現況(会議録)」岩塚徹『日

本総合健診医学会誌』21(4)370-376

「歴史的背景をふまえて肺のDisabilityを考える(会議録)」
梅田博道『日本胸部疾患学会雑誌』33(増刊)63

「わが国におけるアルコール性肝硬変研究の歴史と現状」奥
平雅彦『肝・胆・膵』30(1)85-95

「免疫学進展の歴史と現状」香山雅子、上野川修一、石川博
通『Medicina』32(3)422-428

「心身医療からみたサイコオンコロジー サイコオンコロ
ジーの歴史と概念」河野博臣『心身医療』7(9)1149-1155

「ヘリコバクター・ピロリの発見とその歴史的背景」下山孝、
田村和民、福田能啓『日本医師会雑誌』113(3)323-326

「内科臨床における心身医療心身医学(心身医療)の歴史的変
遷」末松弘行『Medicina』3(6)1058-1061

「血小板と動脈硬化」田中健蔵『日常診療と血液』5(6)818-
820

「血液型のすべて 血液型発見の歴史」遠山博『日常診療と
血液』5(6)731-734

「糖尿病学史探訪 膵臓の神秘に魅せられた人々(1)」二宮陸
雄『Diabetes Journal(糖尿病と代謝)』23(1)28-31

「成人病研究における分子生物学の歴史と臨床応用」浜口秀
夫『臨床成人病』25(1)13-16

「血友病の歴史」藤巻道男『Biomedical Perspectives』4(2)
135-140

「肝炎ウイルス検索の歴史」三代俊治、真弓忠『肝・胆・

腓』30(1)29-39

「MRSA感染症の歴史的推移」渡辺敏、他『日本消化器外科学会雑誌』28(6)1474

45 皮膚科史

「Dermatologic Mouflage in Japan」IMAIZUMI, Takashi/NAGATOYA, Youji『International Journal of Dermatology』34(11)817-821

「フランスのムラージュ(蠟製皮膚病模型)について(抄)」今泉孝『日本医史学雑誌』41(2)300-301

「Von Dem Grau Bis Zum Bunt G. A. Rostの登場」上野賢一『皮膚科の臨床』37(1)85-87

46 泌尿器科史

「長崎浩斎筆『味噌欺録』と「淋石」(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』41(2)216-217

「中国泌尿器科における中医治療の歴史、現状及び問題点(会議録)」那彦群『日本泌尿器科学会雑誌』86(1)43

47 病院学

「「横浜軍陣病院」の歴史地理学的再検討」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』22(1)9-16

「有志共立という思想 慈恵医大創立の思想」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』110(2)297-312

52 法医学史

「開拓使御雇エルドリッジの医学政事科講義」小関恒雄『犯罪学雑誌』61(5)187-191

53 法医学史

「北米放射線学会の歴史(年代記-9)」乙供通則、竹川鉦一、菅原耕、他『青森労災病院医誌』5(1)26-34

「癌放射線療法 放射線治療の歴史」阿部光幸『癌の臨床』別冊#3-11

「古典あれこれ Scheier とX線」飯沼壽孝『Johns』11(7)1032-1033

「我国医学界初のX線実験臨床講義者・丸茂文良(例会)」唐沢信安『日本医史学雑誌』41(3)437-438

「北海道部会50年の歴史と将来展望放射線画像解析に於けるQuantumJump」菊池務『北海道放射線技術雑誌』(55)103-112

「放射線診療の基礎 子宮頸癌放射線治療の歴史」久保田進『臨床放射線』40(3)365-367

「北海道部会50年の歴史と将来展望 CT、MRIによる臨床画像への影響撮る時代から創る時代へ」坂田元道『北海道放射線技術雑誌』(55)99-102

「核開発の歴史と環境放射能汚染」角田道生『医学評論』(95)11-15

「北海道部会50年の歴史と将来展望 回想放射線技術研究の

主題と変遷その動機・原因の分析」富樫健『北海道放射線技術雑誌』(55)75-83

「北海道部会50年の歴史と将来展望 RI画像におけるデジタルフィルタ」花田博之『北海道放射線技術雑誌』(55)91-97

「北海道部会50年の歴史と将来展望 放射線治療機の高エネルギー化に伴って派生した問題点とその解決中性子発生に起因する諸問題を中心として」山口成厚『北海道放射線技術雑誌』(55)85-90

「シリーズ：レントゲンX線発見から一世紀レントゲン以前にX線を発生させた人々」山崎岐男『日独医報』40(2)125-136

54 本草学史・博物学史

「薬品会・物産会年表」磯野直秀『科学医学資料研究』(247)6-14

「蘇頌と『図経本草』(抄)」王少麗『日本医史学雑誌』41(2)254-255

「キニホフ『植物引葉図譜』について」河村典久『慈斎研究会だより』(69)2-7

55 麻酔学史

「麻酔学書誌学的研究(抄)」石橋肇、落合俊輔、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(1)30-31

「智児曼斯(チルマンズ)氏外科総論にみられる麻酔的事項(抄)」石橋肇、佐久間優、渋谷敏、吉井鑄、山口秀紀、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』20(3)208-209

「バランス麻酔の過去カクテル麻酔について」久保田行男、豊田芳郎『麻酔』44(増刊)147-148

「バランス麻酔の過去(NLA)」古賀義久『麻酔』44(増刊)144-146

「バランス麻酔の過去NLA出現以前」土肥修司『麻酔』44(増刊)141-143

57 薬学史

「ヨーロッパ、日本、米国における薬学および薬業発達の相違歴史的概観と今後の展望」Goetz Wolfgang (ドイツ)『薬学史雑誌』30(1)11-17

「明治の売薬と新聞雑誌(第1報)明治初期の新聞売薬広告とその影響」天野宏、川淵美奈子、尾花良枝、杉原正泰『薬学史雑誌』30(2)134

「ハンガリー医薬文化史の旅」石田純郎『薬学史雑誌』30(1)54-60

「『ウルユス弘方心得書』を読む(1)」岩井敏治郎、野尻佳代子、青木充夫『医学史研究』(68)236-238

「ヨーロッパ、日本、米国における薬学および薬業発達の相違—歴史的概観と今後の展望—」ウォルフガング・ゲッツ『薬学史雑誌』30(1)11-17

「近世中医学における白内障分類とその治療」大江英明、播磨章一、久保道德『薬史学雑誌』30(2)125-133

「ドリンク剤に関する薬史学的研究—特にドリンク剤の起源とその市場形成について—」大江英明、播磨章一、松本仁人『薬史学雑誌』30(1)36-45

「処方せんの頭書Rについて」大橋清信『薬史学雑誌』30(2)91-95

「『尾州薬園濫觴録』について」後藤尚夫、山口茂治、田中俊弘『薬史学雑誌』30(1)18-24

「日本の薬学戦後50年史 薬学情報」長山泰介『薬史学雑誌』30(2)71-74

「日本の薬学戦後50年史 分析化学」南原利夫『薬史学雑誌』30(2)66-70

「『耳囊』所載の民間療法に用いられた薬物の研究」浜田善利『薬史学雑誌』30(1)46-53

「『元禄世間咄風聞集』所載の医薬学関連の咄(抄)」浜田善利『日本医史学雑誌』41(2)190-191

「古典あれこれ コカインの盛衰」廣瀬肇『Johns』11(5)748-751

「中国11世紀以前の桂類薬物と薬名—林億らは仲景医書の桂類薬名を桂枝に統一した—」真柳誠『薬史学雑誌』30(2)96-115

「補中益気湯の歴史」真柳誠『現代東洋医学』16(4)501-507

「シーボルトの処方集(1)」宮崎正夫『薬史学雑誌』30(2)

116-124

「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その8)バルビタール系催眠鎮静剤の日本薬局方(JP)への採用と規格・試験法の変遷」柳沢清久、山田光男、松本仁人『薬史学雑誌』30(1)36-45

「医薬科学技術の近現代史素描(3)19世紀の後半から第二次世界大戦まで」山川浩司『薬史学雑誌』30(1)1-10

「医薬科学技術の近現代史素描(4)第二次世界対戦後の50年」山川浩司『薬史学雑誌』30(2)75-90

「緒方洪庵の薬箱とその生薬「苘根(ろうこん)」について」米田諒典、他『日本生薬学会42回年会講演要旨集』232

58 蘭学史

「蘭学の背景(美作の場合)IX—X」下山純正『津山洋学資料館』(26)8-10

「蘭書『胡献賢私哥尔』(ウーヘンスコール)の挿図銅版画と司馬江漢」菅野陽『論集日本の洋学』(3)71-96

「『蘭書胡献賢私哥尔』(ウーヘンスコール)の挿図銅版画と司馬江漢」菅野陽『論集 日本の洋学Ⅲ』

「備前藩蘭方医山川正朔のイギリス艦長との応接」中山沃『洋学資料による日本文化史の研究』(8)1-17

「『紅毛医術聞書』にみる合田大介のキャンセル論」長与健夫『日本医史学雑誌』41(3)395-402

「十七世紀の平戸・出島蘭館の医薬関係者について」ヴォル

フガング・ミヒエル『日本医史学雑誌』41(3)403-420

60 検 査

「エンザイムイムノアッセイ概論その歴史と現状と将来」河合忠『日本臨床』53(9)2101-2106

「臨床検査という言葉の発祥と内容の史的推移—特に臨床検査技師の発展との関連について(抄)」谷島清郎『日本医史学雑誌』41(2)268-269

「検査技師の歴史」田畑勝好『健康人間学』(7)26-30

61 そ の 他

「対談 人間探訪—偉人たちの生と死—第1回 チャールズ・チャップリンと血管障害」淀川長治、酒井シヅ『ライフエ』(1)1-3

「対談 人間探訪—偉人たちの生と死—第2回 徳川家康と健康管理」網淵謙錠、酒井シヅ『ライフエ』(2)1-3

「対談 人間探訪—偉人たちの生と死—第3回 レオナルド・ダ・ヴィンチと脳卒中」石ノ森章太郎、酒井シヅ『ライフエ』(3)1-3

「対談 人間探訪—偉人たちの生と死—第4回 (日本のシェークスピア)河竹黙阿彌と脳溢血」井上ひさし、酒井シヅ『ライフエ』(4)1-3

「医療関連資料(史料)の現状と問題点(抄)」網野豊、酒井シヅ『日本医史学雑誌』41(2)270-271

「古典あれこれ 手話の変遷」貝塚 侑『Johns』11(11)1732-1736

「犯罪被害者の精神的援助について犯罪により心的外傷を受けた被害者への援助の研究の歴史と実践」小西聖子『犯罪学雑誌』61(3)108-121

「今月の誌上ギャラリー 知識だけの医師」酒井シヅ『循環科学』15(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー オイディプスとスフィンクスの問答」酒井シヅ『循環科学』15(2)巻末

「今月の誌上ギャラリー ウロスコピー(尿検査)」酒井シヅ『循環科学』15(3)巻末

「今月の誌上ギャラリー 新薬」酒井シヅ『循環科学』15(4)巻末

「今月の誌上ギャラリー 瀉血と十二宮図」酒井シヅ『循環科学』15(5)巻末

「今月の誌上ギャラリー 17世紀の「医師」」酒井シヅ『循環科学』15(6)巻末

「今月の誌上ギャラリー 19世紀初めの治療・瀉血」酒井シヅ『循環科学』15(7)巻末

「今月の誌上ギャラリー 17世紀のオランダの往診」酒井シヅ『循環科学』15(8)巻末

「今月の誌上ギャラリー 医者と厄介な患者」酒井シヅ『循環科学』15(9)巻末

「今月の誌上ギャラリー 偏頭痛」酒井シヅ『循環科学』15

- (10) 卷末
 「今月の誌上ギャラリー モンゴルの相撲」酒井シヅ『循環科学』15(11) 卷末
 「今月の誌上ギャラリー ビザンチン医学の処方集」酒井シヅ『循環科学』15(12) 卷末
 「新幹線の発音は(sinkansen)か—学術語のカタカナ書きについて—(抄)」柴田幸雄『日本医史学雑誌』41(2)276-277
 「『古事記の文化人類学』余聞 仁徳期にみえる枯野はメタセコイアか?(抄)」杉本茂春『日本歯科医史学会々誌』21(1)10-11
 「[みる] ための画像と [みせる] ための画像(抄)」高比良英輔『日本医史学雑誌』41(2)274-275
 「長屋王家木簡の醬・味滓請求文書—『葛氏方』との関連から」東野浩之『日本医史学雑誌』41(1)113-119
 「敗戦・陸軍少佐青酸自殺・救命処置・蘇生(抄)」中室嘉祐『日本医史学雑誌』41(2)290-291
 「A. F. Schweigger 博士伝の断片ならびに Leibnitz の宣教計画遂行のための協会について(1)」安田純一『医譚』(68)4011-4017
 「医薬と文明」山川浩司『化学と工業』48(1)14-16
- 62 中国語文献(北里研究所東医研医史学研究部担当)
 「中華医学会80年発展歷程」陳清森『中華医史雜誌』25(1)1-6
- 「關於同意成立中国中医薬学会中医薬史分会の批復」中国中医薬学会『中華医史雜誌』25(1)6
 「中華医学会医史学会第九届委員会六年工作簡報」李経緯『中華医史雜誌』25(1)7-9
 「第11届全国医史学術会議及『两会』会議紀要」朱建平『中華医史雜誌』25(1)10-11
 「中華医学会医史学会第十届委員会暨中国中医薬学会中医薬史分会第一届委員会名單」『中華医史雜誌』25(1)11
 「試論中国近代医学的文化背景・特点与趨勢」甄志亜『中華医史雜誌』25(1)12-18
 「梁漱溟創辦山東鄒平縣鄉村衛生事業概述」郭洪涛『中華医史雜誌』25(1)19-24
 「内経運氣要旨論」小考」張宗棟『中華医史雜誌』25(1)24
 「浙江広済医院与省立医薬専科学校史略」朱德明『中華医史雜誌』25(1)25-29
 「明清時期新安薬店及其医薬学作用」童光東・劉惠玲『中華医史雜誌』25(1)30-34
 「中国古代導尿術応用史略」杜勇『中華医史雜誌』25(1)35-37
 「貝母薬用歴史及品種考察」尚志鈞・劉曉龍『中華医史雜誌』25(1)38-42
 「浅述蒙医浸泡療法之發展」策・財吉拉胡『中華医史雜誌』25(1)43-45
 「敦煌吐魯番出土古本五臟論の考察」王淑民・龐莎莎『中華

「醫史雜誌」25(1)46-51
「『走街會心錄』與清初閩台走街醫學」李文旭『中華醫史雜誌』25(1)52-54
「18世紀的醫學」程之範『中華醫史雜誌』25(1)55-61
「陳文中生卒年與『小兒病源方論』的成書年代」朱錦善『中華醫史雜誌』25(1)61
「評介『自然科學發展大事記·醫學卷』」余瀛鰲『中華醫史雜誌』25(1)62-63
「台灣早期之教會醫學」高田·哈鴻潛『中華醫史雜誌』25(2)65-73
「鉍在醫學上的應用簡史」陳虹·蒲朝煜『中華醫史雜誌』25(2)74-76
「120年來中國衛生檢疫」楊上池『中華醫史雜誌』25(2)77-82
「近代西洋醫學傳入煙台概述」楊華祥·田文·劉運祥『中華醫史雜誌』25(2)83-85
「麻風第一方考」李牧『中華醫史雜誌』25(2)85
「保定醫學堂的初創」馮志平『中華醫史雜誌』25(2)86-88
「試論傷寒學研究之歷史分期」萬曉剛『中華醫史雜誌』25(2)89-91
「日本最早研究X射線者」邵丹『中華醫史雜誌』25(2)91
「明代『傷寒論』研究對後世的影響」歐陽兵『中華醫史雜誌』25(2)92-94
「張存惠重修『政和本草』所題『己酉』年代的討論」尚志

鈞·劉大培『中華醫史雜誌』25(2)94
「清代醫官考試及題例」張鴻聲『中華醫史雜誌』25(2)95-96
「扁鵲墓廟研究」曹東義·郭双庚·王振瑞等『中華醫史雜誌』25(2)97-101
「枳馬王堆醫書中的『澡』『燥』」張顯成『中華醫史雜誌』25(2)101
「侗族預防醫學思想初探」龍運光『中華醫史雜誌』25(2)102-105
「陳海峰與『中國衛生保健史』」朱潮『中華醫史雜誌』25(2)106-107
「中藥注射液創製考源」施懷生·馮俊嬋『中華醫史雜誌』25(2)107
「萬全生平若干史事考」毛德華『中華醫史雜誌』25(2)108-110
「『丹溪心法』及朱氏相關著作考」劉時覺『中華醫史雜誌』25(2)111-113
「『難經』作者之我見」張瑞麟『中華醫史雜誌』25(2)114-116
「19世紀前半期的醫學」程之範『中華醫史雜誌』25(2)117-122
「維爾康醫史研究所簡況」馬堪溫『中華醫史雜誌』25(2)123-126
「中國近代西醫婦科學史」蕭溫溫『中華醫史雜誌』25(3)129-133

「我国医藥郵品与医事活動」朱定華『中華医史雜誌』25(3) 134-138

「中国的人痘接種術是現代免疫学的先驅」馬伯英『中華医史雜誌』25(3)139-144

「『肘後備急方』对針灸学的貢獻」白純『中華医史雜誌』25(3)144

「胆石症的歷史」甄橙『中華医史雜誌』25(3)145-149

「遼代医学」黃震雲『中華医史雜誌』25(3)150-153

「推動佊国兩次針灸浪潮的歷史人物」車離『中華医史雜誌』25(3)154-156

「敦煌遺書中的耳穴与耳孔灸法」張儂『中華医史雜誌』25(3)156

「独国医学院校的医史学科古今談」独·Unschuld P U『中華医史雜誌』25(3)157-160

「哲人其萎 功業永存——悼溝通中西文化的架橋人李約瑟博士」馬堪温『中華医史雜誌』25(3)161-162

「回憶李約瑟博士」程之範『中華医史雜誌』25(3)163-164

「西晋創設『医署』考論」梁峻『中華医史雜誌』25(3)164

「徐靈胎世系及相關問題考証」吳国良『中華医史雜誌』25(3)165-168

「龔定国考」史世勤『中華医史雜誌』25(3)169-170

「新安医家吳亦鼎小考」沈晓明『中華医史雜誌』25(3)170

「許叔微『仲景三十六種脈法圖』考」張同君『中華医史雜誌』25(3)171-174

「『新彫孫真人千金方』考略」蘇礼『中華医史雜誌』25(3) 175-178

「張從正祖籍考」張反修·劉王海『中華医史雜誌』25(3)178

「就西漢無心属火說等問題答質疑」田樹仁·王建中『中華医史雜誌』25(3)179-182

「19世紀後半期的医学」程之範『中華医史雜誌』25(3) 183-189

「独国慕尼黑大学医史研究所簡介」盧亞麗·独·Volkmar B『中華医史雜誌』25(3)190-192

「亞細安(東盟)国家中的中医藥組織」新加坡·王平『中華医史雜誌』25(3)封三

「小亚細亚古国法律与法医学」賈靜涛『中華医史雜誌』25(4)193-198

「舌脈診法考」靳世英『中華医史雜誌』25(4)199-203

「中国近代西医產科学史」蕭温温『中華医史雜誌』25(4) 204-210

「基督教在河南省的傳播与西方医学的传入」毛光驛『中華医史雜誌』25(4)211-215

「毒物在我国古代軍事上的応用」龔純『中華医史雜誌』25(4)216-218

「日本據台時期的医学(上)」哈鴻潜·高田『中華医史雜誌』25(4)219-224

「19世紀独国医学教育的改革」郝恩恩『中華医史雜誌』25(4)224

- 「海南省人民医院110年史記」林詩泉·林書勇『中華医史雜誌』25(4)225-228
- 「清代医家臧逢德生平考略」王振国『中華医史雜誌』25(4)228
- 「從脚氣病論魏晉南北朝印度医学之传入」范家偉『中華医史雜誌』25(4)229-232
- 「藏医妊娠学說的来源」李勤璞『中華医史雜誌』25(4)233-237
- 「国医革新導師章太炎」胡越『中華医史雜誌』25(4)238-241
- 「德貞的西医学訳著」高晞『中華医史雜誌』25(4)242-246
- 「關於驚風『四証八候』的出處」朱建平『中華医史雜誌』25(4)247-248
- 「『五十二病方』鵲巢考弁」孫啓明『中華医史雜誌』25(4)248
- 「『外台秘要方校注』讀後」錢超塵『中華医史雜誌』25(4)249-250

64 歐文文獻

- ABEL, Emily K. : A "Terrible and Exhausting" Struggle : Family Caregiving during the Transformation of Medicine : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(4)478-506
- ADAMSON, Melitta W. : Der deutsche Anhang zu *Hildegard von Bingen's* 'Liber simplicis medicinae' in Codex 6952 der Bibliothèque Nationale in Paris (fol. 232v-238v) : Sudhoffs Archive : 79(2)173-192
- APPLE, Rima : Constructing Mothers : Scientific Motherhood in the Nineteenth and Twentieth Centuries : So. Hist. Med. : 8(2)161-178
- BALDWIN, Douglas O. : Discipline, Obedience, and Female Support Groups : Mona Wilson at the Johns Hopkins Hospital School of Nursing, 1915-1918 : Bull. Hist. Med. : 69(4)599-619
- BARR, Bernadine C. : Entertaining and Instructing the Public : John Zahorsky's 1904 Incubator Institute : So. Hist. Med. : 8(1)17-35
- BENZENHÖFER, Udo : Die Einführung von Subjektivität und Objektivität in die Medizin : Bemerkungen zur Sozialmedizin Viktor von Weizsäckers in den Jahren 1929-1933 : Sudhoffs Archive : 79(2)131-137
- BERMAN, Paul : The Practice of Obstetrics in Rural America, 1800-1860 : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(2)175-191
- BIRKEN, William : The Dissenting Tradition in English Medicine of the Seventeenth and Eighteenth Centuries : Medical History : 39(2)197-218
- BRONDEGAARD, Vagn J. : Das "Menschlein" in der Blüte : Sudhoffs Archive : 79(2)227-230
- CAPLAN, Eric M. : Trains, Brains, and Sprains : Railway Spine and the Origins of Psychoneuroses : Bull. Hist. Med. :

- 69(3)387-419
- CARTER, K. C./ABBOTT, S./SIEBACH, J. L. : Five Documents Relating to the Final Illness and Death of Ignaz Semmelweis : Bull. Hist. Med. : 69(2)255-270
- CLARK, Mark E./SUMMERS, Kirk M. : Hippocratic Medicine and Aristotelian Science in the *Daemonum investigatio peripatetica* of Andrea Cesalpino : Bull. Hist. Med. : 69 (4) 527-541
- DELACY, M. E.CAIN, A. J. : A Linnaean Thesis concerning *Contagium Vivum*: the '*Exanthemata Viva*' of John Nyander and Its Place in Contemporary Thought : Medical History : 39(2)159-185
- DIGBY, Anne : 'A Medical El Dorado'? Colonial Medical Incomes and Practice at the Cape : So. Hist. Med. : 8 (3) 463-479
- EFRON, John M. : Images of the Jewish Body : Three Medical Views from the Jewish Enlightenment : Bull. Hist. Med. : 69 (3)349-366
- ESTES, J. W. : American Association for the History of Medicine : Report of the Sixty-Eighth Annual Meeting : Bull. Hist. Med. : 69(3)458-469
- EVLETH, Donna : Vichy France and the Continuity of Medical Nationalism : So. Hist. Med. : 8(1)95-116
- FEUDTNER, Chris : The Want of Control : Ideas, Innovations, and Ideals in the Modern Management of Diabetes Mellitus : Bull. Hist. Med. : 69(1)66-90
- GALE, Catharine R./MARTYN, Christopher N. : Dummies and the Health of Hertfordshire Infants, 1911-1930 : So. Hist. Med. : 8(2)231-255
- GARDNER, John W./DINSMORE, Robert C. : Evolution of the Concept of the Febrile Seizure as It Developed in the American Medical Literature, 1800-1980 : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(3)340-363
- GRELL, Ole P. : The Reception of Paracelsianism in Early Modern Lutheran Denmark: from Peter Severinus, the Dane, to Ole Worm : Medical History : 39(1)78-94
- GRIMSHAW, Margaret L. : Scientific Specialization and the Poliovirus Controversy in the Years before World War II : Bull. Hist. Med. : 69(1)44-65
- GRMEK, Mirko D. : Some Unorthodox Views and a Selection Hypothesis on the Origin of the AIDS Viruses : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(2)253-273
- HARDY, Anne : Beriberi, Vitamin B1 and World Food Policy, 1925-1970 : Medical History : 39(1)61-77
- HARLEY, David : From Providence to Nature: the Moral Theology and Godly Practice of Maternal Breast-Feeding in Stuart England : Bull. Hist. Med. : 69(2)198-223
- HARRISON, Mark : The British Army and the Problem of

- Venereal Disease in France and Egypt during the First World War : *Medical History* : 39 (2) 133-158
- HOUSTON, R. A. : Writers to the Signet : Estimates of Adult Mortality in Scotland from the Sixteenth to the Nineteenth Century : *So. Hist. Med.* : 8 (1) 37-53
- ILIFFE, Rob : "That Puzleing Problem" : Isaac Newton and the Political Physiology of Self" : *Medical History* : 39 (4) 433-458
- KARENBERG, Axel : Hospitäler in Prag vom Hochmittelalter bis zur Aufklärung : *Sudhoffs Archive* : 79 (1) 73-100
- KASS, Amalie M. : "Called to Her at Three O'Clock AM" : Obstetrical Practice in Physician Case Notes" : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 50 (2) 194-229
- KÄSTNER, Ingrid : Zum Schicksal der Paracelsus-Bibliothek Karl Sudhoffs : *Sudhoffs Archive* : 79 (1) 115-119
- KELLER, Thomas : Railway Spine Revisited : Traumatic Neurosis or Neurotrauma? : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 50 (4) 507-524
- KURIYAMA, Shigehisa : Interpreting the History of Bloodletting : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 50 (1) 11-46
- KUSHNER, Howard I. : Medical Fictions : the Case of the Cursing Marquise and the (Re) Construction of Gilles de la Tourette's Syndrome : *Bull. Hist. Med.* : 69 (2) 224-254
- LEAVITT, Judith W. : "A Worrying Profession" : the Domestic Environment of Medical Practice in Mid-Nineteenth-Century America" : *Bull. Hist. Med.* : 69 (1) 1-29
- LEWIS, Jane : Family Provision of Health and Welfare in the Mixed Economy of Care in the Late Nineteenth and Twentieth Centuries : *So. Hist. Med.* : 8 (1) 1-16
- MARKEL, Howard : "Knocking out the Cholera" : Cholera, Class, and Quarantines in New York City, 1892" : *Bull. Hist. Med.* : 69 (3) 420-457
- MARLAND, Hilary : Questions of Competence : the Midwife Debate in the Netherlands in the Early Twentieth Century : *Medical History* : 39 (3) 317-337
- MARLAND, Hilary : "Pioneer Work on All Sides" : the First Generations of Women Physicians in the Netherlands, 1879-1930" : *J. Hist. Med. Allied Sci.* : 50 (4) 441-477
- MARTIN, Moira : Medical Knowledge and Medical Practice : Geriatric Medicine in the 1950s : *So. Hist. Med.* : 8 (3) 443-461
- MATTHEWS, J. R. : Major Greenwood versus Almroth Wright : Contrasting Visions of "Scientific" Medicine in Edwardian Britain : *Bull. Hist. Med.* : 69 (1) 30-43
- MORANTZ-SANCHEZ, Regina : Making It in a Man's World : the Late-Nineteenth-Century Surgical Career of Mary Amanda Dixon Jones : *Bull. Hist. Med.* : 69 (4) 542-568
- NEVE, Michael/TURNER, Trevor : What the Doctor Thought

- and Did : Sir James Crichton-Browne (1840-1938) : Medical History : 39(4)399-432
- NYE, Robert A. : Honor Codes and Medical Ethics in Modern France : Bull. Hist. Med. : 69(1)91-111
- PARK, Katharine : The Life of the Corpse : Division and Dissection in Late Medieval Europe : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(1)111-132
- PATTERSON, K. David : Mortality in Late Tsarist Russia : a Reconnaissance : So. Hist. Med. : 8(2)179-210
- PAXTON, Frederick S. : Curing Bodies—Curing Souls : Hrabanus Maurus, Medical Education, and the Clergy in Ninth-Century Francia : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(2)230-252
- PENNINGTON, T. H. : Listerism, Its Decline and Its Persistence : the Introduction of Aseptic Surgical Techniques in Three British Teaching Hospitals, 1890-99 : Medical History : 39(1)35-60
- REAGAN, Leslie J. : Linking Midwives and Abortion in the Progressive Era : Bull. Hist. Med. : 69(4)569-598
- ROSENBERG, Charles E. : Catechisms of Health : the Body in the Prebellum Classroom : Bull. Hist. Med. : 69(2)175-197
- SANTING, Catrien G. : Medizin und Humanismus : Die Einsichten des Nürnberischen Stadtarztes Theodericus Ulsenius über *Morbus Gallicus* : Sudhoffs Archive : 79 (2) 138-149
- SAVAGE-SMITH, Emilie : Attitudes toward Dissection in Medieval Islam : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(1)67-110
- SAVONA-VENTURA, C. : The Influence of the Roman Catholic Church on Midwifery Practice in Malta : Medical History : 39(1)18-34
- SCHLICH, Thomas : Medicalization and Secularization : the Jewish Ritual Bath as a Problem of Hygiene (Germany 1820s-1840s) : So. Hist. Med. : 8(3)423-442
- SCHÜTTMANN, Werner : Die Aufnahme der Entdeckung Wilhelm Conrad Röntgens in Berlin : Sudhoffs Archive : 79 (1)1-21
- SHERWOOD, Joan : Treating Syphilis : the Wetnurse as Technology in an Eighteenth-Century Parisian Hospital : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(3)315-339
- SHVARTS, Shifra : Who Will Take Care of the Worker? the Establishment of "Kupat Holim," the Workers' Sick Fund in Israel, 1911-1921 : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50 (4) 525-556
- SIRAI, Nancy G. : Early Anatomy in Comparative Perspective : Introduction : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(1)3-10
- SMITH, F. B. : The Russian Influenza in the United Kingdom, 1889-1894 : So. Hist. Med. : 8(1)55-73
- STEWART, John : Socialist Proposals for Health Reform in Inter-War Britain : the Case of Somerville Hastings : Medic-

- al History : 39(3)338-357
- SULLIVAN-FOWLER, Micaela : Doubtful Theories, Drastic Therapies: Autointoxication and Faddism in the Late Nineteenth and Early Twentieth Centuries : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(3)364-390
- SUZUKI, Akihito : The Politics and Ideology of Non-Restraint: the Case of the Hanwell Asylum : Medical History : 39(1)1-17
- TANSEY, E. M. : What's in a Name? Henry Dale and Adrenaline, 1906 : Medical History : 39(4)459-476
- TATTERSALL, Robert : Pancreatic Organotherapy for Diabetes, 1889-1921 : Medical History : 39(3)288-316
- TEIGEN, Philip M. : Sore Arms and Selective Memories : Alexander H. P. Leuf and the Beginning of Baseball Medicine : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(3)391-408
- THOM, Betsy/BERRIDGE, Virginia : 'Special Units for Common Problems': the Birth of Alcohol Treatment Units in England : So. Hist. Med. : 8(1)75-93
- VON STADEN, Heinrich : Anatomy as Rhetoric : Galen on Dissection and Persuasion : J. Hist. Med. Allied Sci. : 50(1)47-66
- WADDINGTON, Keir : The Nursing Dispute at Guy's Hospital, 1879-1880 : So. Hist. Med. : 8(2)211-230
- WAITE, Kathryn J. : Blackley and the Development of Hay Fever as a Disease of Civilization in the Nineteenth Century : Medical History : 39(2)186-196
- WARNER, Deborah J. : The Campaign for Medical Microscopy in Antebellum America : Bull. Hist. Med. : 69(3)367-386
- WEBSTER, Charles : Paracelsus Confronts the Saints: Miracles, Healing and the Secularization of Magic : So. Hist. Med. : 8(3)403-421
- ZUCK, D. : Mr. Troutbeck as the Surgeon's Friend: the Coroner and the Doctors—an Edwardian Comedy : Medical History : 39(3)259-287